取扱説明書

REGZA

4K液晶テレビ

形名 43Z570L/50Z570L/55Z570L/65Z570L

★ インターネットへの接続をおすすめします

インターネットに接続すると、さまざまなサービスが利用できるクラウドサービスや、快適にご利用いただくための最新ソフトウェアへの更新など、より便利にそして快適に本機をご利用いただけます。

◆お客様登録サイト<レグザ メンバーズ>に登録をお願いします◆

「レグザ メンバーズ」は、映像商品のお客様登録サイトです。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※Web限定のサービスです。

https://store.regza.com/members/

：：必ず本製品をご利用いただく前に
「本製品のご利用に関する重要なお知らせ」46 をご覧ください。

：：必ず最初に「安全上のご注意」4 をご覧ください。

：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、
「困ったときには」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

はじめに

- 本書は本機の設置・接続と基本的な操作について説明しています。
- 本機の詳しい操作については、 設 定 を押し、「初期設定・機能操作ガイド」⇨「機能操作ガイド」で表示される機能操作ガイドをご確認ください。
  スマートフォン・タブレットを使うと、テレビを操作しながらご覧いただけて便利です。

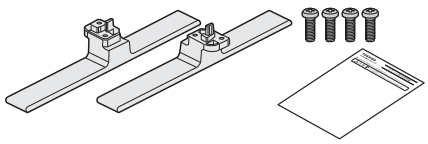
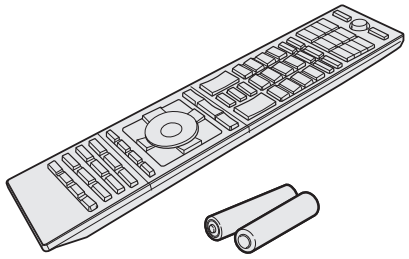
レグザ取扱説明書ダウンロードページ
共通取説(2022年版)・機能操作ガイド

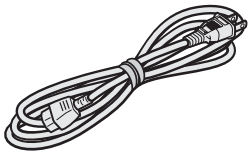
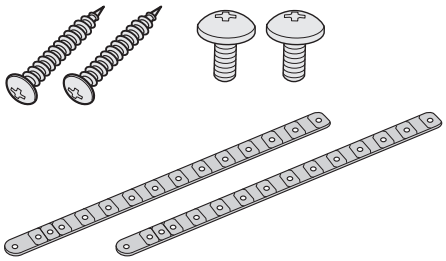
https://cs.regza.com/mnul/search_category_list2.php?ec1=15
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

最初に確認してください

付属品を確認する

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- アンテナや外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
スタンド ● 本体に取り付けます。10  43/50/55Z570L: M4ネジ(4本) 65Z570L:M5ネジ(4本)	1 式
リモコン(CT-90499) **単四形乾電池** 	リモコン 1 個 乾電池 2 個

付属品/名称	付属数
電源コード 	1 本
ネジ（短）、転倒防止バンド、ネジ（長） ● テレビの転倒・落下防止に使います 12 	各 2 本
取扱説明書(本書) **「レグザ メンバーズ」の登録チラシ**	各 1 部

※ B-CASカードは付属していません(ＡＣＡＳチップが搭載されています)。

※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求めください。

もくじ

安全上のご注意 …… 4

準備・接続をする

各部のなまえ …… 8
スタンドを取り付ける …… 10
テレビを設置する …… 12
　正しい置きかた …… 12
　転倒・落下防止のしかた …… 12
デジタル放送の種類と特徴 …… 13
アンテナを接続する …… 13
　お願いとご注意 …… 13
　BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意 …… 13
　地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合 …… 14
　地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合（マンションの共聴アンテナなど） …… 14
　録画機器を経由する場合 …… 14
外部機器を接続する …… 15
　外部機器接続例 …… 15
　デジタル音声（光）端子付のオーディオ機器で聴くとき …… 17
　レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき …… 17
　USB機器を接続する …… 18
　Bluetooth機器を接続する …… 19
インターネットを利用するための接続をする …… 20
リモコンの準備をする …… 21
　各ボタンの機能 …… 21
　乾電池を入れる …… 21
　リモコンコードについて …… 21
　リモコンの使用範囲について …… 22
電源を入れる …… 22
　電源を入れる …… 22
　電源を「待機」にする …… 22
　お願い…電源プラグの取り扱いについて …… 22
「はじめての設定」をする …… 23
　「はじめての設定」について …… 23
　はじめての設定 …… 23
　「はじめての設定」をやり直すとき …… 26
録画機器を接続する …… 27
ホームネットワークについて …… 29
ホームネットワークの接続・設定をする …… 30
レグザリンクについて …… 33
タイムシフトリンク機能の接続・設定をする …… 35

テレビを使う

お知らせを見る …… 36
ACASチップ情報を確認する …… 36
ソフトウェアを更新する …… 37
ソフトウェアのバージョンアップ予定 …… 39
文字を入力する …… 40
使用上のお願いとご注意 …… 41
　取り扱いについて …… 41
　電源プラグをコンセントから抜く際のご注意 …… 41
　遠隔操作について …… 41
　録画・録音について …… 41
　4K映像の表示について …… 41
　本機の無線LAN/Bluetoothを使う際のお願い …… 41
　無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意 …… 42
　本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき …… 42
　免責事項について …… 42
お手入れについて …… 43
　お手入れの際のご注意 …… 43
　キャビネットと画面のお手入れ …… 43

困ったときには

こんな場合は故障ではありません …… 44
症状に合わせて解決法を調べる …… 44
Basic Operations …… 45
本製品のご利用に関する重要なお知らせ …… 46
ライセンスおよび商標などについて …… 49
仕様 …… 50
保証とアフターサービス …… 52

この取扱説明書内のマークの見かた

お知らせ	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。	お願い	取扱上のお願いを記載しています。
用語	用語の説明をしています（分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります）。	ご注意	取扱上のご注意を記載しています。
☞	関連する内容が記載されているページの番号を示しています。		「機能操作ガイド」に関連する内容が記載されている事を示しています。

お知らせ

- この取扱説明書は、43Z570L ／ 50Z570L ／ 55Z570L ／ 65Z570Lで共用です。
  記載しているイラストは55Z570Lのものです。本書のイラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際の表示画面は変更される可能性があります。
- 当社サポートサイト(https://www.regza.com/regza/support/)の「取扱説明書（マニュアル）ダウンロード」には最新の取扱説明書を掲載しており、製品発売後に追加公開された説明資料が掲載される場合もありますので、本書でお探しの情報が見つからないときは、合わせてご確認ください。

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
警告	“取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷[*1]を負うことが想定されること”を示します。
注意	“取り扱いを誤った場合、人が軽傷[*2]を負うことが想定されるか、または物的[*3]損害の発生が想定されること”を示します。

＊１：　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊２：　軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３：　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注　意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異常や故障のとき

■ **煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ **内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ **落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

■ **電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にし、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く**

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ **本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する**

指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ **屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない**

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ ぐらつく台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない

禁　止

テレビが落下すると、重大なけがや死亡の原因となります。
多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。

- スタンドは本機に付属のスタンドを付属のネジで本機の本体に固定して使用する。
- 本機を安全に保持できるテレビ台などの専用の家具を使用する。
- 本機は設置するテレビ台などの家具の端からはみ出さないように設置する。
- 背の高い家具(食器棚や本棚など)の上には本機と家具の両方を頑丈な柱や壁などに確実に固定した場合以外は設置しない。
- 本機と本機を設置するテレビ台などの家具の間には、布など何も敷かない。
- お子様には、本機やリモコンを操作するために本機を設置したテレビ台などの家具によじ登ると危険であることをよく説明して教え、お子様がテレビを設置した家具によじ登らないように注意する。

これまで使用していたテレビを使い続ける場合や別の場所に移動する場合にも上記と同様な対応が必要です。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

■ 振動のある場所に置かない

振動禁止

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

指　示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ 電源コードのコネクターは、本機のAC INPUT端子に確実に差し込む

指　示

差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
本機を移動したりしたときは、差込部分のゆるみがないかご確認ください。

■ 上にものを置いたり、ペットをのせたりしない

上載せ禁止

金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ 壁掛け金具をテレビに取り付ける場合にはテレビ本体に取り付けてあるネジは使用しない。

禁　止

壁掛け金具側で指定されているネジを使用しないと、テレビが脱落してけがの原因となります。

■ 転倒・落下防止の処置をする

禁　止

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒防止のしかたは12をご覧ください。

■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する

指　示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

■ 壁に取り付けて使用する場合には、垂直な壁面に取り付け角度0°で設置する

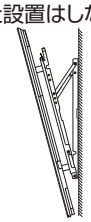
指　示

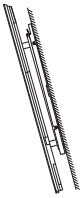
本機の取付角度は(垂直な壁面に対して)0°のみに対応しています。取付金具で傾けた設置をすると、テレビが落下して、テレビの破損だけでなく、けがや床などが損傷する原因となります。

■ 壁に取り付けて使用する場合には、

禁　止

● 取付金具で傾けた設置はしない　● 傾斜した壁面へは設置しない





取付金具で傾けた設置や、傾斜した壁面への設置をすると、テレビが落下して、テレビの破損だけでなく、けがや床などが損傷する原因となります。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、

禁　止

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近付けるなど)しない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない

異物侵入禁止

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない

禁　止

感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

指　示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する

指　示

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない

禁　止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取り付け面にゴミやホコリが付着している場合は、きれいに掃除する

指　示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

安全上のご注意 つづき

⚠注意

設置するとき

■ **温度の高い場所に置かない**

禁　止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ **通風孔をふさがない**

禁　止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

壁に押しつけないでください(10cm以上の間隔をあける)。
押し入れや本箱など風通しの悪いところに押し込まないでください。
テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
じゅうたんや布団の上に置かないでください。
あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ **湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない**

禁　止

加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ **移動したり持ち運んだりする場合は、**

指　示

- **包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、二人以上で取り扱う**
  一人で取り扱うと、身体を痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- **離れた場所に移動するときは、電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす**
  はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
- **車(キャスター)付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
  テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
  テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ **位置を調整する場合は、本体キャビネット部を持って調整する**

指　示

パネルに無理な力が加わると、パネルが破損するおそれがあります。

■ **車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する**

指　示

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。

畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ **テレビ台を使用するときは、**

禁　止

- **不安定な台を使わない**
- **片寄った載せかたをしない**
- **テレビ台の扉を開けたままにしない**
- **耐荷重が本機の質量より軽いテレビ台を使わない**
- **テレビ台の端からはみ出さない**
- **本機とテレビ台の間には布など何も敷かない**

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

禁　止

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**

引っ張り禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ **テレビやテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない**

禁　止

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ **旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体底面にある本体ボタンの中央部やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。
本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ **ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない**

禁　止

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ **リモコンに使用している乾電池は、**

禁　止

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない**
- **火や直射日光などの過激な熱にさらさない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

⚠注意

■ **液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない**

禁　止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

■ **テレビの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かない**

禁　止

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります(詳しくは、下の「お知らせ」をご覧ください)。

テレビのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などがテレビに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。

テレビのキャビネットやスタンド部分などにひび割れなどの破損が生じたときは、すぐにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 本機のキャビネット、スタンドなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ(ケミカルストレスクラック)の原因となるものもあります。
「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。こぼれたこれらの液体などが、製品底面のプラスチック部分と設置台のすき間に浸み込んだ場合でも、放置すると発生することがあります。

お手入れについて

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜け

感電の原因となることがあります。
お手入れのしかたは 43 をご覧ください。
(電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」41 をお読みください)

■ **1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください**

指　示

本体の内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ **お手入れや、画面の向きを変える際に、**

禁　止

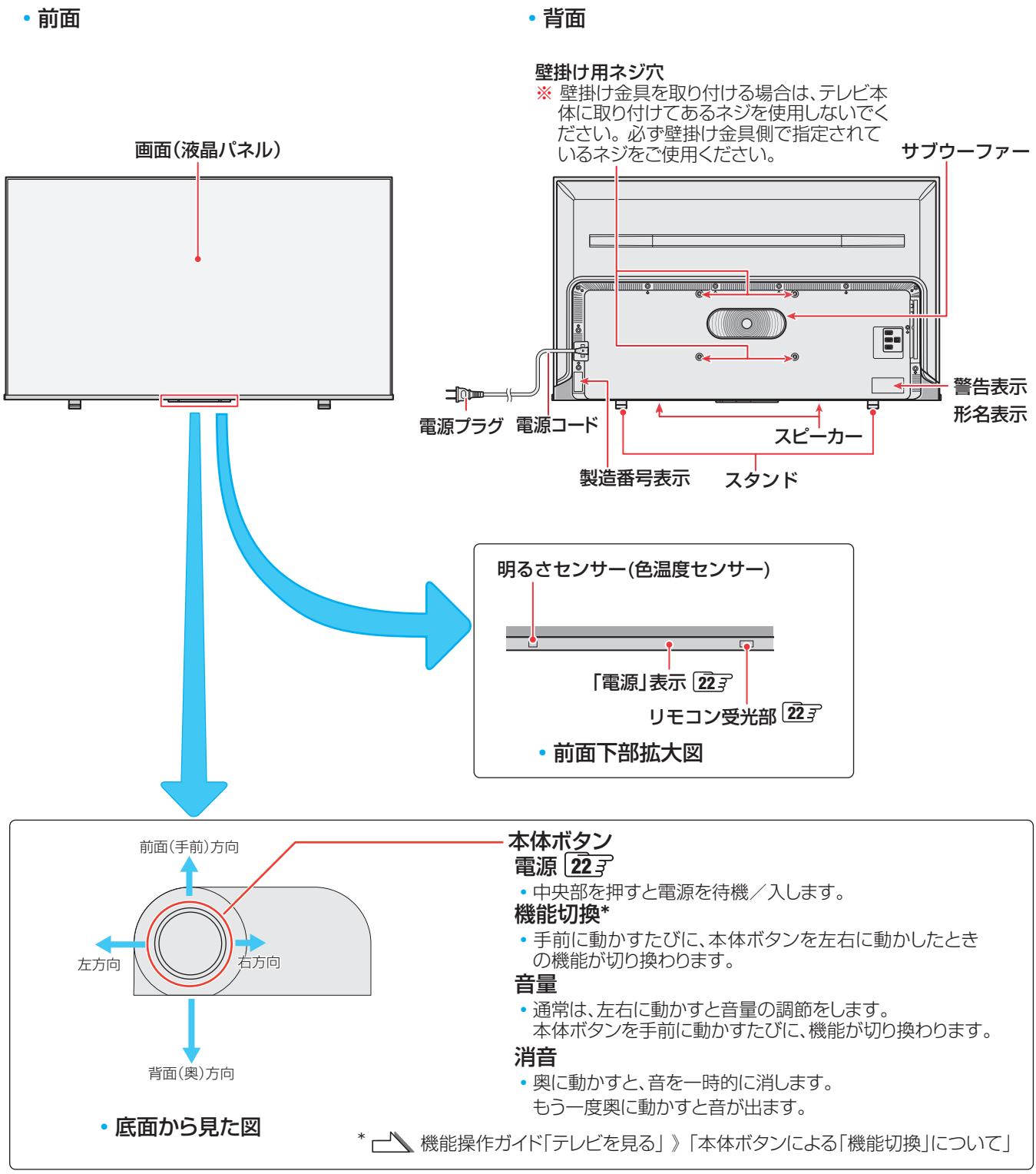
- **画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れない**
- **画面のみを押したり、引っ張ったりしない**

画面の内面はガラスでできています。無理に曲げたり、傷つけたりした場合、画面が割れて、けがの原因となることがあります。
お手入れのしかたは 43 をご覧ください。

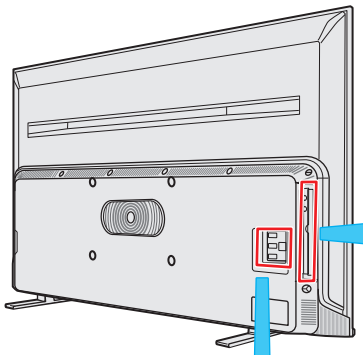
各部のなまえ

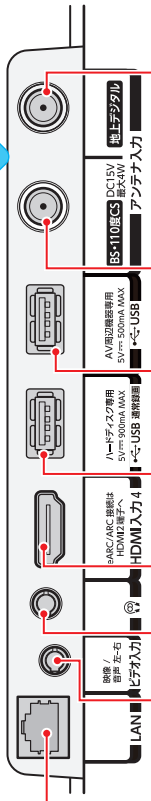
- 製品イラストは55Z570Lです。他の機種はイメージが多少異なります。
- 詳しくは 内のページをご覧ください(代表的なページを示しています)。

前面/背面と本体ボタン



入出力端子





地上デジタルアンテナ入力端子 13
- 地デジ受信用のUHFアンテナを接続します。

BS・110度CSアンテナ入力端子 13
- 衛星放送および4K放送を視聴する場合にBS・110度CS共用アンテナを接続します。

USB(AV周辺機器専用)端子 18
- USB機器を接続します。

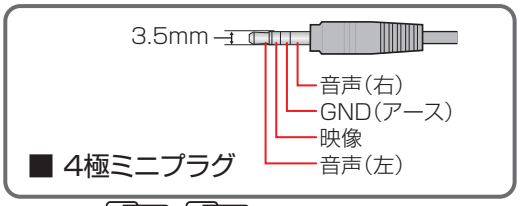
USB(通常録画)端子 27
- USBハードディスクを接続して録画・再生ができます。

HDMI入力 4端子 15 17
- 映像機器やオーディオ機器を接続します。

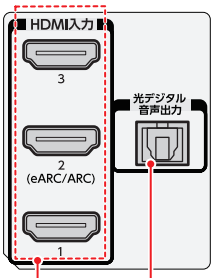
ヘッドホン出力端子
- ヘッドホンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。

ビデオ入力端子 15
- 映像機器を接続します。

※ 市販の4極ミニプラグの映像/音声ケーブルをご使用ください。



LAN端子 20 30
- ホームネットワークやインターネットに接続します。



光デジタル音声出力端子 17
- 光デジタル音声入力端子を備えたオーディオ機器などに接続します。

HDMI入力 1、2(eARC/ARC)、3端子 15 17
- 映像機器やオーディオ機器を接続します。
  レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器(オーディオシステム)は
  HDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。
  2160p 60Hz(10bit,12bit)及び2160p 120Hz出力対応機器を接続する場合は
  HDMI入力1端子か2端子に接続してください。

スタンドを取り付ける

⚠注意	■ 二人以上で作業する 一人で作業をすると、身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。 ■ 画面を強く握らない 画面を強く握ると、割れるおそれがあります。

● スタンドの取り付けかたについては、付属の別紙「スタンド取付説明書」にも記載しています。

お願い

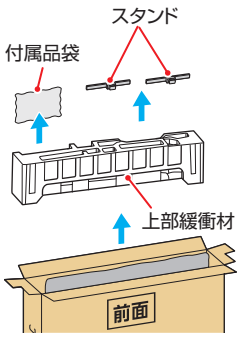
● スタンド取付作業では、包装材を横に寝かせて簡易テーブルとして使用します。包装箱の前方にスペースを確保してください。
本体よりも大きなテーブルがある場合は、テーブルの上に毛布などの柔らかい布を敷いて、作業台とすることができます。
● プラスドライバー（JIS 2番、直径6mm）をご用意ください。

※ 画面保護のため、タグが付いた保護フィルムを画面に貼りつけている場合があります。また、テレビ本体のキャビネットや、スタンドに保護フィルムが付いている場合があります。これらの場合は、本機の設置作業が終わってから保護フィルムをはがしてご使用ください。

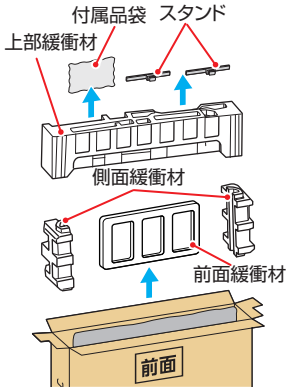
1 包装箱を開けてすべての付属品と緩衝材を取り出す

● 機種によって、緩衝材の形が異なります。
● スタンド以外の付属品は、梱包箱内側に貼り付けた付属品袋に収納されています。
● スタンド組立用部品（スタンド×2個、ネジ×4本）がそろっているかご確認ください。
● 緩衝材は手順 *3* で使用します。

■ 43Z570L



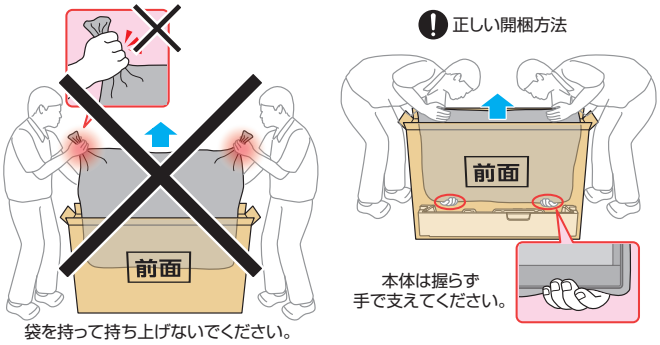
■ 50/55/65Z570L



■ 43/50Z570L

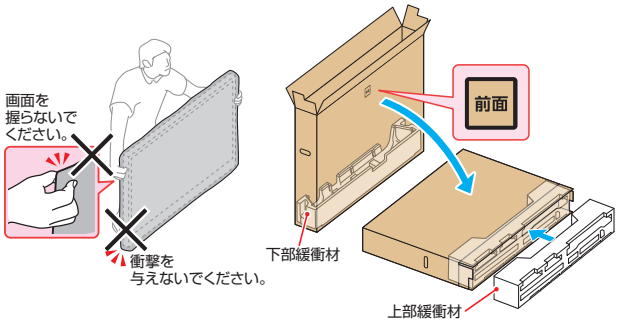
2 本体を包装箱から取り出す

● 本体の下側を手で支えて取り出してください。
● 画面を強く握らないでください。



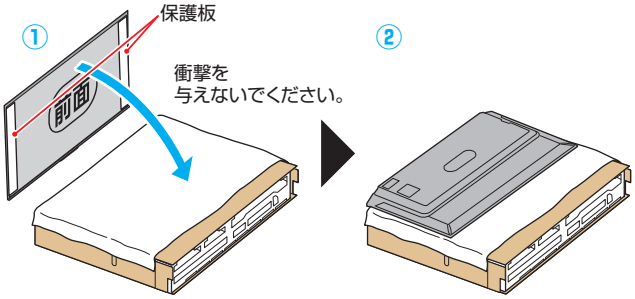
3 簡易テーブルを作成する

※ 一人は本体を支え、もう一人は簡易テーブルを作成してください。
● 下部緩衝材が包装箱の奥にセットされていることを確認してください。
● 緩衝材を包装箱にセットします。
● 柔らかい布を敷いてください。



4 本体を簡易テーブルにのせる

① 本体の背面側を上向きにして簡易テーブルの上にのせてください。
② 本体と包装箱の下端を合わせます。



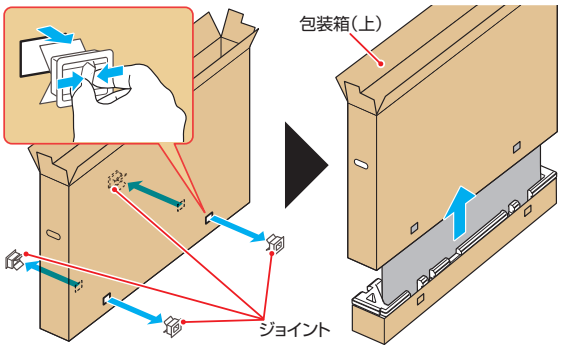
● 手順 *5* ～ *6* に進みます。

■55/65Z570L

2 包装箱(上)を抜き取る

● ジョイント4個をはずして包装箱(上)を抜き取ります。

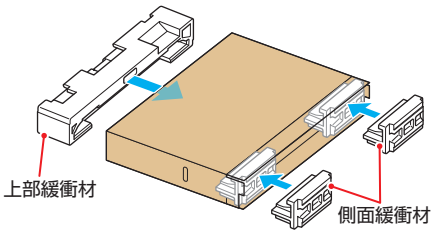
※ 包装箱(上)を抜き取るときに、本体に触れないように注意してください。



3 簡易テーブルを作成する

● 包装箱(上)に上部緩衝材と側面緩衝材をセットします。

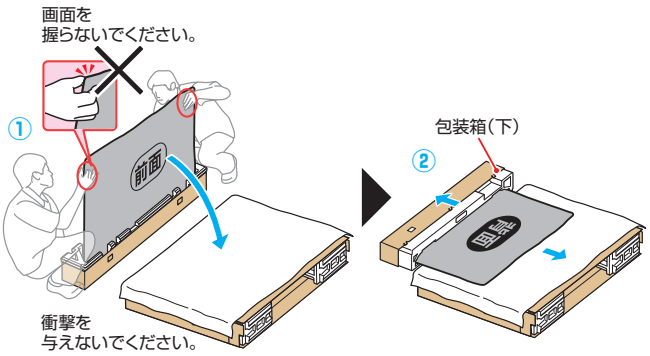
● 柔らかい布を敷いてください。



4 本体を簡易テーブルにのせる

① 必ず本体の背面側を上向きにして簡易テーブルの上にのせてください。

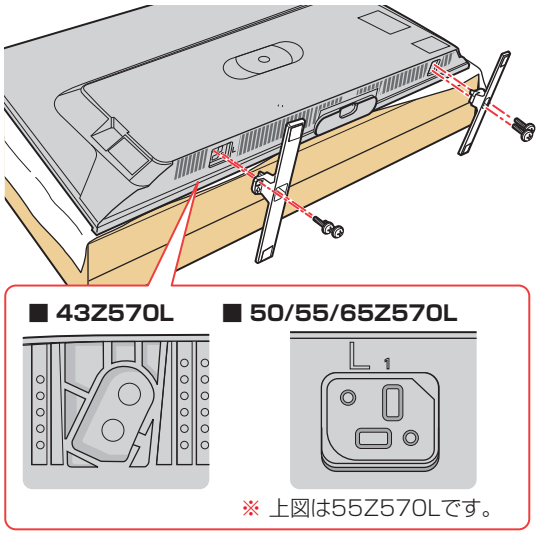
② 本体と包装箱の下端を合わせます。



5 本体にスタンドを取り付けてネジで固定する

● スタンドの突起を、本体のくぼみに差し込みます。

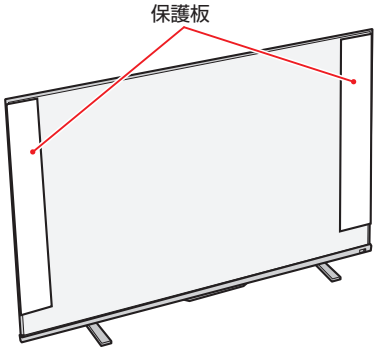
※ ネジを斜めに締めると、ネジ山が破損するおそれがあります。



6 本機を起こす

※ 画面の保護板はテレビを設置するまではずさないでください。

※ 画面を指で強く押さないようにご注意ください。



お知らせ

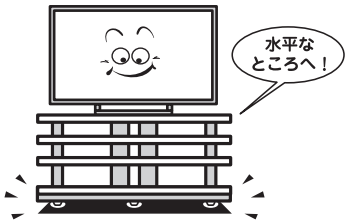
● 電動ドライバーをご使用の場合、トルクはおよそ1.0N・m(10kgf・cm)に設定してください。

テレビを設置する

- 設置の前に「安全上のご注意」4 ～ 7 を必ずお読みください。
- スタンドの取り付けについては、付属のスタンド取付説明書をご確認ください。

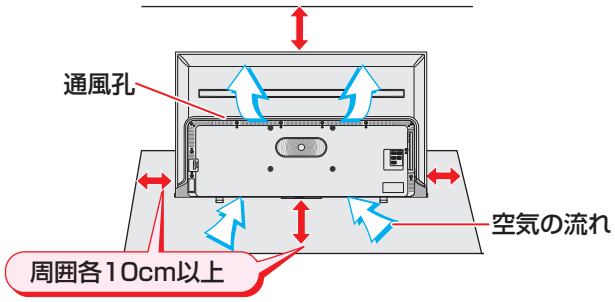
正しい置きかた

■丈夫で水平な安定した所に設置してください



周囲から離して置いてください

- 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。



■テレビ台を使用する場合

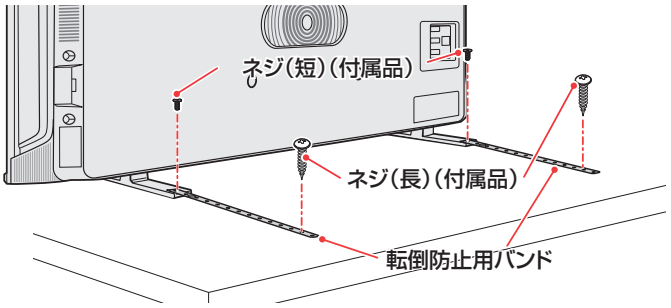
- テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

転倒・落下防止のしかた

- 転倒・落下防止器具を取り付ける台や壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

- スタンドに転倒防止用バンドをネジ（短）2本で取り付け、設置する台の確実に支持できる天面に付属のネジ（長）で固定します。



お願い

- 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあります。相互に影響しない位置に設置してください。

デジタル放送の種類と特徴

● 本機は以下の4種類のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

● **UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特徴です**

● **本機は「CATVパススルー対応」です**
ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

● 受信にはBS・110度CS共用アンテナを使用します。

● **BSデジタル放送**
デジタル方式の放送衛星(Broadcasting Satellite：通称BS)を使用したデジタル衛星放送です。
- **日本全国どこでも同じ放送を楽しむことができ、一部に視聴契約が必要な有料チャンネルがあります**
- **2種類のデータ放送(連動データ放送、独立データ放送)や双方向サービスがあります**

● **110度CSデジタル放送(CS)**
BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられている通信衛星(Communication Satellite：通称CS)を利用して、スカパー JSAT(株)が運用しているデジタル衛星放送です。
- **さまざまなテレビ番組や専門チャンネル、データ放送などの多彩な放送があります**
- **多くのチャンネルで有料の視聴契約が必要です**

新4K8K衛星放送

「新4K8K衛星放送」とは、2018年12月から放送を開始したBS・110度CSの4K・8K放送のことです。
- 「新4K8K衛星放送」の開始後も、従来のBS・110度CSおよび地上デジタル放送は引き続き提供されています。
- 「新4K8K衛星放送」はBS・110度CS放送で従来から使用されていた放送波(右旋円偏波の電波)と、新しく使用された放送波(左旋円偏波の電波)で提供されています。

ご注意

● 本機は8K放送には対応しておりません。

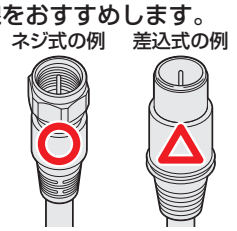
アンテナを接続する

お願いとご注意

※ **アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。**

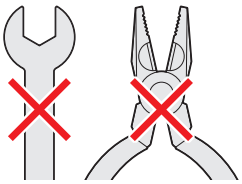
● **アンテナや接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。**
機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

● **F型コネクターがネジ式のアンテナ線をおすすめします。**
差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。



● **F型コネクターのピンが曲がっていないか確認してください。**
曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

● **アンテナ線のF型コネクターは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。**
工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。



● **アンテナを接続するときは必ず本機の電源を待機にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意

● 右旋円偏波の電波で提供される日本放送協会(NHK)、BS日本(BS日テレ)、BS朝日、BS-TBS、BSフジ、BSテレビ東京の4K放送は、従来のアンテナ設備でご覧いただけます。

● 左旋円偏波の電波で提供されるSCサテライト放送、QVCサテライト、WOWOW、スカパー・エンターテイメントの4K放送をご覧いただくためには、SHマークのついた新4K8K衛星放送に対応したBS・110度CSアンテナ設備が必要になります。
アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご注意

● 上記の内容に限らず、現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。
また、衛星放送用受信設備の技術基準に適合させるため、機器交換や工事が必要な場合があります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

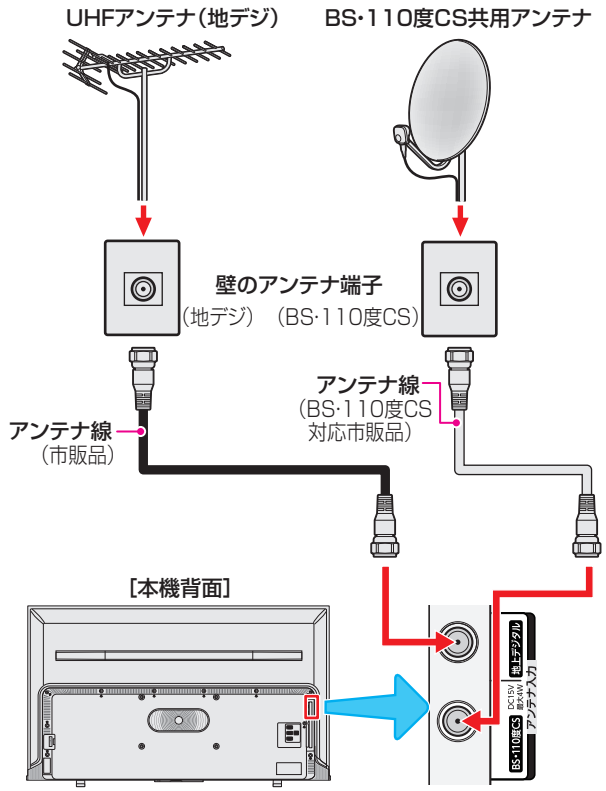
● 録画機器を経由してアンテナを接続しているとき、テレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないでアンテナ線を本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。

新4K8K衛星放送に関するお問い合わせ

● 新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。
一般社団法人　放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ
https://www.apab.or.jp

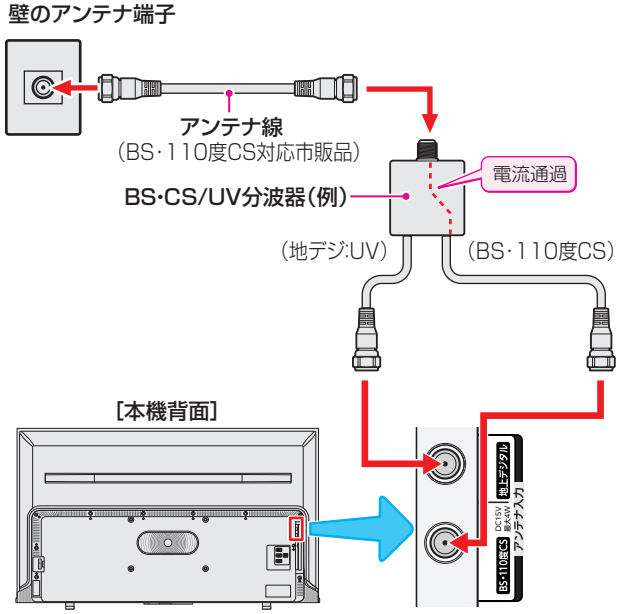
アンテナを接続する つづき

地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合



地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合（マンションの共聴アンテナなど）

- 地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続します。
- マンションなどでの共聴システムの場合は、視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

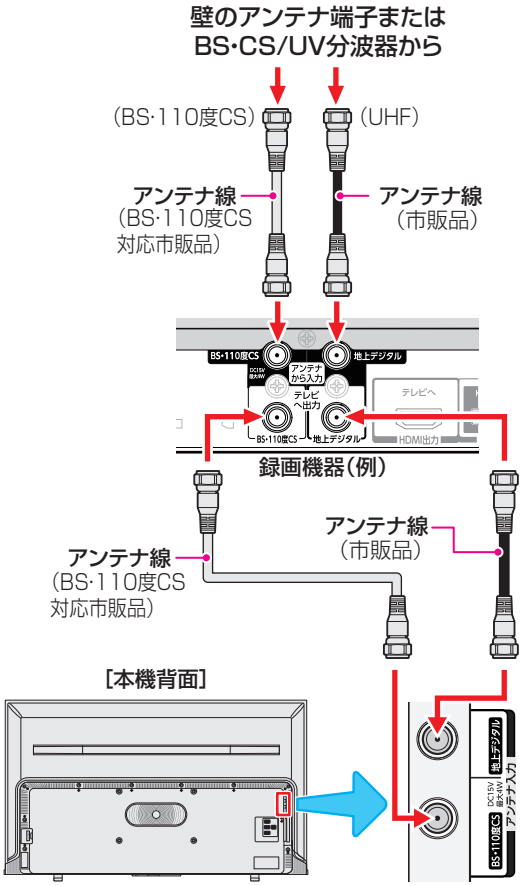


- BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。BS・CS/U・V混合器や分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。

※ マンションなどでの共聴システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません（「はじめての設定」23のあとで「衛星アンテナ電源供給」を「しない」に設定してください。詳しくは機能操作ガイドをご覧ください）。

録画機器を経由する場合

- 録画機器のBS・110度CSアンテナ電源が供給される設定になっていることを確認してください。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。



テレビが映らないとき

- 「はじめての設定」23をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。
  - 録画機器が「BS・110度CSの4K放送」に対応していない場合、「BS・110度CSの4K放送」が映らないことがあります。
  - 録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。
- 症状が改善されない場合は、機能操作ガイドの「アンテナを調整する」をご覧ください。

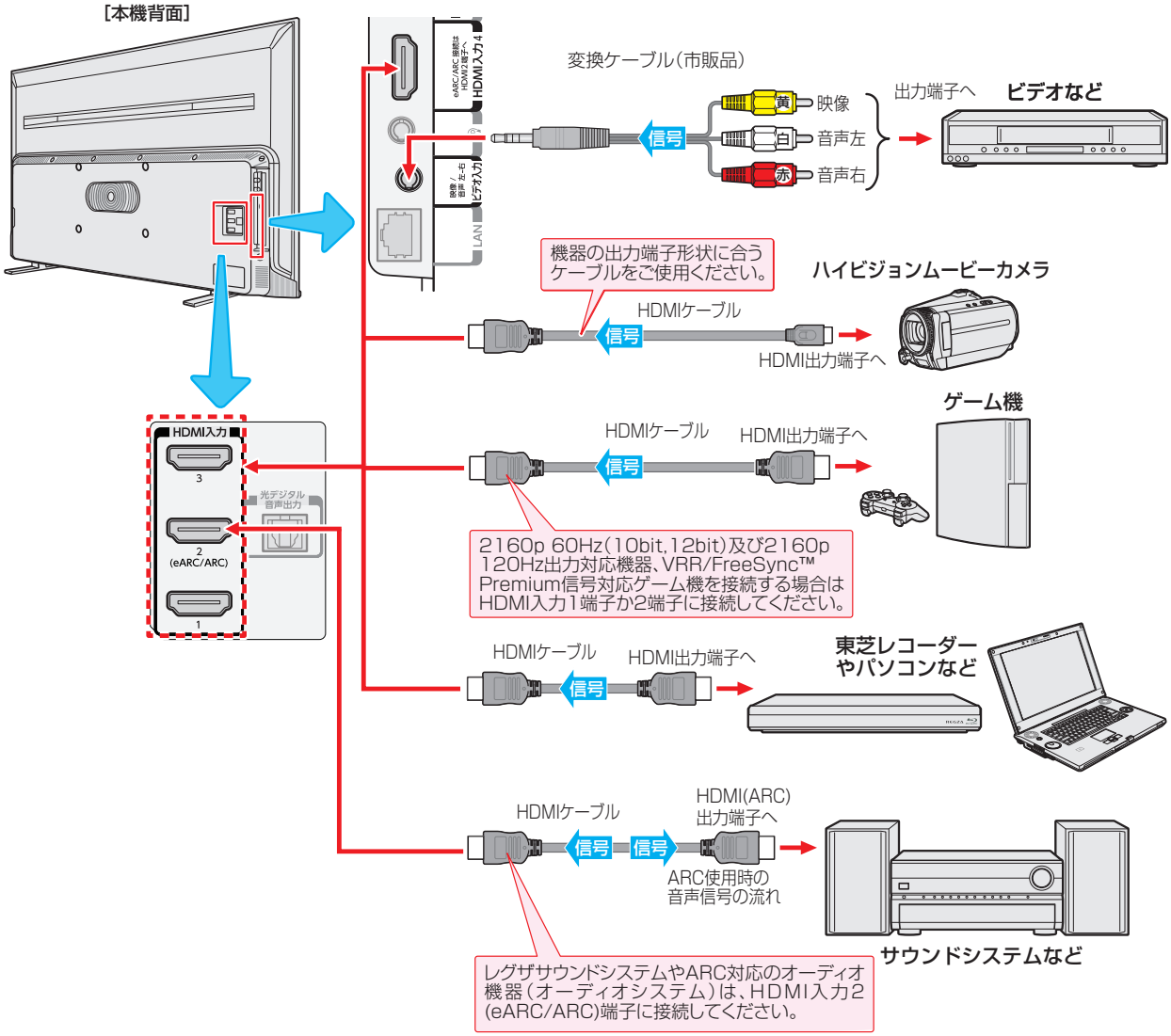
お知らせ

- 録画機器で受信した番組や録画した番組を見るための接続については、「外部機器を接続する」15をご覧ください。

外部機器を接続する

外部機器接続例

- レコーダーなどの録画機器の場合、アンテナの接続については、14をご覧ください。
- 接続が終わったら、「外部入力の機能を設定する」(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「外部入力の機能を設定する」)を参照して必要な設定をしてください。
- HDMI連動機器(レグザリンク対応機器)では、本機との連動機能によって、ワンタッチプレイやシステムスタンバイの機能を使ったり、本機のリモコンで機器の基本操作をしたりすることができます。詳しくは、「レグザリンクについて」33をご覧ください。必要に応じて「HDMI連動機能」(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする」)の設定をしてください。
- AVアンプなどのオーディオ機器がARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している場合、従来必要だった光デジタルケーブルは不要で、ARC対応のHDMIケーブル1本で接続できます。ARC対応していないオーディオ機器とHDMIケーブルで接続する場合は、「レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき」17をご覧ください。



お知らせ

※ 本機の「レゾリューションプラス」(機能操作ガイド「調整・設定をする」》「精細感・ノイズ調整」)と同様の高画質機能を備えた機器を接続した場合、本機の機能との相互作用で画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、接続機器の高画質機能または本機の「レゾリューションプラス」をオフにしてください。

- 変換ケーブルは、片方が4 極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーについては、ホームページ (https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、4K映像機器にも対応しています。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては次ページをご覧ください。
- HDMI 4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

■ パソコンについて

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号(機能操作ガイド「さまざまな情報」》「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」)を入力してください(本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります)。
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりすることがあります。

外部機器を接続する つづき

- 本機に接続できる接続ケーブル(接続コード)の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。
- 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。

※ 外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。
※ 外部機器から4Kの映像信号(2160p)を入力する場合は、プレミアムハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。
※ 外部機器から4Kの映像信号(2160p 60Hz(10bit,12bit)及び2160p 120Hz)を入力する場合は、ウルトラハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください(HDMI入力1、2端子のみ)。

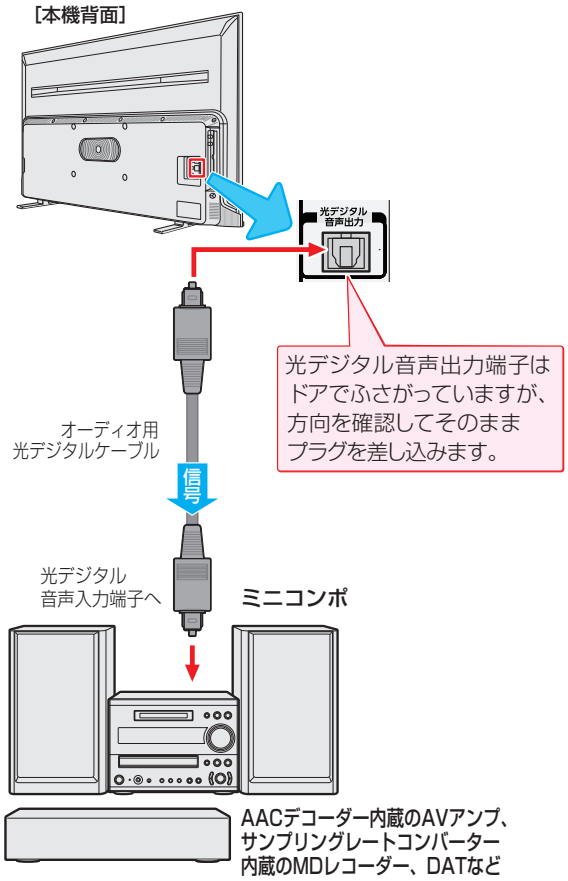
接続ケーブル(接続コード)	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル(入力用/eARC/ARC用)	画質・音質ともに最高	**デジタル映像信号** 480i、480p、720p、1080i、1080p、2160p、2160p 60Hz(10bit, 12bit)、2160p 120Hz (HDMI入力1、2端子のみ) **デジタル音声信号(入力)** リニアPCM、AAC、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーアトモス サンプリング周波数:48kHz、44.1kHz、32kHz ドルビー TrueHD/MAT サンプリング周波数:48kHz **デジタル音声信号(eARC/ARC)** リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーアトモス、ドルビーTrueHD/MAT、AAC
映像・音声用コード(入力用)	画質・音質ともに標準	**アナログ映像信号** 480i **アナログ音声信号**
オーディオ用光デジタルケーブル(出力用)	最高の音質	**デジタル音声信号(光)** リニアPCM、ドルビーデジタル、AAC
ヘッドホン用コード(出力用)	標準の音質	**アナログ音声信号**

著作権保護について

- 本機のHDMI入力端子は、HDCPで著作権保護されている映像の再生に対応しています。
  対応HDCPバージョン: HDCP1.4、HDCP2.3

デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき

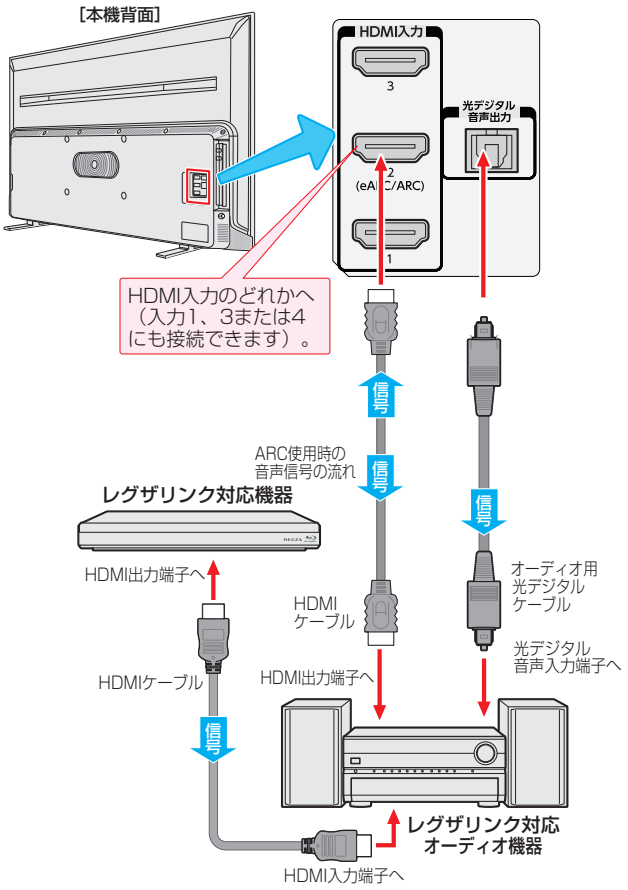
- **ミニコンポなどのオーディオ機器(オーディオシステム)に接続するとき**
  - 本機の音量を最小に調節し、ミニコンポなどのオーディオ機器(オーディオシステム)側で音量を調節してください。
  - オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」(機能操作ガイド「調整・設定をする」》「音声詳細設定」)の設定をします。
- **サンプリングレートコンバーター内蔵のMDレコーダーやDATに接続するとき**
  - MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
  - 「デジタル音声出力」(機能操作ガイド「調整・設定をする」》「音声詳細設定」)を「PCM」に設定します。
- **AACデコーダー内蔵AVアンプなどに接続するとき**
  - デジタル放送のAAC方式の信号を、AACデコーダー内蔵AVアンプなどで楽しむことができます。
  - 「デジタル音声出力」(機能操作ガイド「調整・設定をする」》「音声詳細設定」)を「デジタルスルー」に設定します。



※ 光デジタルケーブルのプラグには2種類の形状があります。接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。
本機側に差し込むプラグの形状は、です。

レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき

- レグザリンク対応のオーディオ機器を本機にHDMIケーブルで接続すれば、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節するなどの操作ができます 33。
- オーディオ機器のHDMI入力端子にレグザリンク対応機器(HDMI連動機器)を接続することができます。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」(機能操作ガイド「調整・設定をする」》「音声詳細設定」)の設定をします。また、必要に応じて「HDMI連動設定」(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする」)をしてください。
- レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。



※ ARC対応のオーディオ機器を、ARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続する場合は、光デジタルケーブルの接続は不要です。

お知らせ

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力される信号は、音声メニューおよび音声調整の効果を得られません(Dolby DRCの効果は、「PCM」や「オート」を選択していてリニアPCM信号で出力される場合にだけ得られます)。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。AACデコーダー側で切り換えてください。
- HDMI入力の選択時に、入力信号が著作権保護されている場合は、光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力される信号を他の機器に録音することはできません。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては 16 をご覧ください。
- レグザリンク対応のオーディオ機器(推奨機器)については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

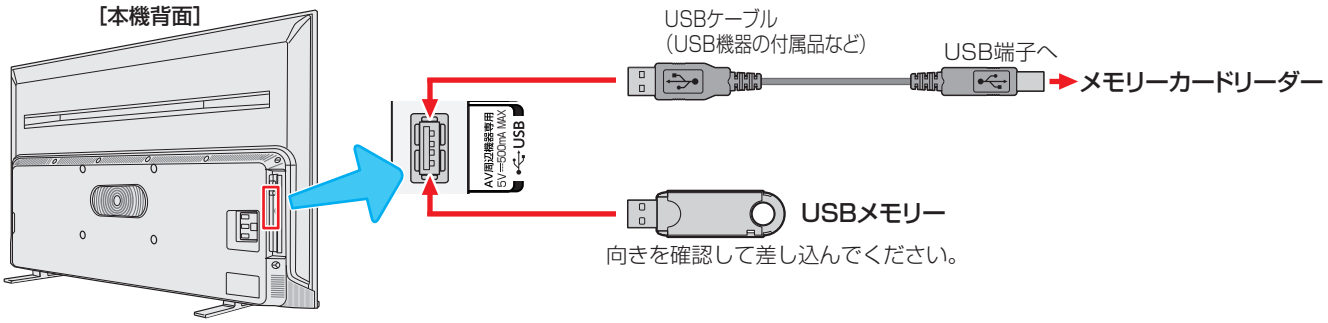
外部機器を接続する つづき

USB機器を接続する

● USB機器に保存されている動画や写真を本機で見ることができます。
※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。

ご注意

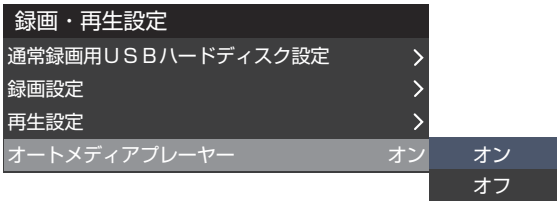
● 以下のUSB機器は、図の位置のUSB端子(AV周辺機器専用)に接続してください。USB(通常録画)端子には接続しないでください。
※ 録画用USBハードディスクはUSB(通常録画)端子へ接続してください。
● USB機器を取りはずすときは、動画や写真の再生を終了させてください。再生中に機器を取りはずしたり、電源を切ったりすると、機器や記録メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
● それぞれの機器の動作や取り扱いなどについては、機器の取扱説明書をよくお読みください。



機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする

● 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておくと、放送番組や外部入力の視聴時にUSBメモリーなどを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます(お買い上げ時は「オン」に設定されています)。
※ USBメモリーなどを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送番組・外部入力の視聴以外の操作をしているときにUSBメモリーなどを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「オートメディアプレーヤー」の順に進む



2 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- **オン**……オートメディアプレーヤーの画面が表示されます。
- **オフ**……オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

お知らせ

● ファイルフォーマットがFAT32のUSB機器に対応しています。
● USBハブを使って本機のUSB端子に接続した場合に認識できるUSBハブは二つで機器数は最大7台です。スロットを複数持つメモリーカードリーダーなどの場合は、1スロットで1台とみなされます。なお、USBハブを使った場合は、正常に動作しないことがあります。

Bluetooth機器を接続する

● 本機はBluetooth機能を搭載しており、Bluetooth対応デバイスと無線で接続する事ができます。

Bluetooth機能を使用する

● Bluetoothを利用するかどうかの設定をします。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「Bluetooth設定」⇨「Bluetooth」の順に進む

2 ◀·▶で「オン」を選び、決定 を押す

● Bluetooth機器を接続して使用できるようになります。

● 「オフ」にすると、Bluetooth機器は使用できなくなります。

Bluetooth機器と接続(ペアリング)する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「Bluetooth設定」の順に進む

2 ▲·▼で「Bluetooth機器一覧」を選び、決定 を押す

● あらかじめ接続するBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

3 ▲·▼で接続したい機器を選択し、決定 を押す

4 画面の指示に従い、機器をペアリングする

● 接続するBluetooth機器の操作方法については、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

● Bluetooth接続して本機で動作する場合はありますが、サポート対象外です。
Bluetoothキーボード·マウス、その他Bluetooth機器について、動作保証はしておりません。
お買い求めになった製品のメーカーへお問い合わせください。

● A2DP対応のBluetoothオーディオ機器を接続した場合、Bluetoothの特性により音声が遅延するため、映像と音声にずれが発生します。

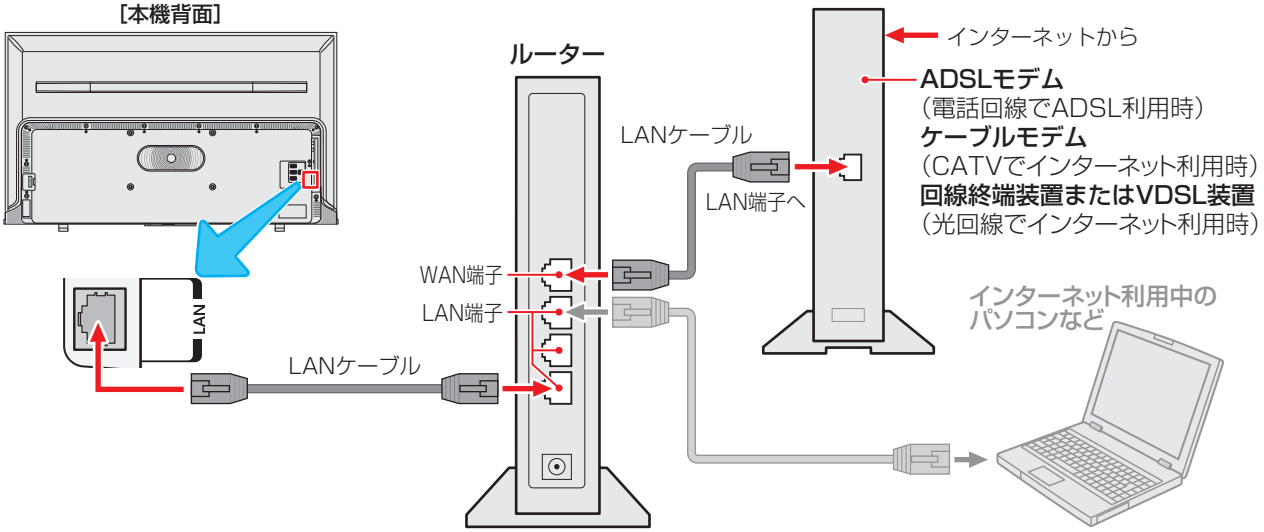
インターネットを利用するための接続をする

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー(インターネット接続業者)との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じて「ネットワーク設定」(機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「インターネットに接続するための設定」)をしてください。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内　容
ネットワークサービス	● 動画配信サービスやクラウドサービスなどのネットワークサービスを楽しむことができます(機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ」)。
データ放送の双方向サービス	● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます(機能操作ガイド「テレビを見る」》「データ放送やラジオ放送を楽しむ」)。 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません。
ソフトウェアの更新	● サーバーから本機の最新ソフトウェアをダウンロードすることができます 37。

接続のしかた(有線LANの場合)



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- LANケーブルは、カテゴリ5(CAT5)と表示された規格以上のものをご使用ください。テレビ・ビデオサービスや動画配信サービスなどを利用する場合、カテゴリ3と表示されたケーブルでは、正しく視聴できないことがあります。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
  - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
  - プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
  - モデムについてご不明な点など。

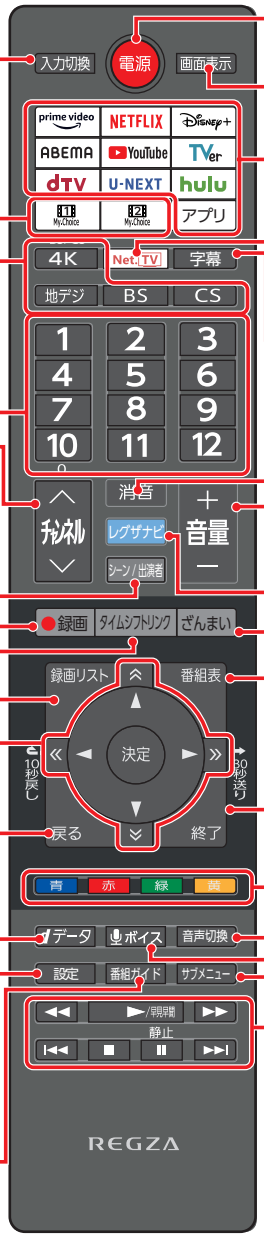
お知らせ

- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

リモコンの準備をする

各ボタンの機能

● 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです（ボタンによっては、通常の操作と異なる使い方をすることがあります）。



入力切換
- 接続した外部入力機器の画面に切り換えます。

My.Choiceボタン
- 外部入力や動画配信サービスなどを登録しておくと、登録した機能に切り換えられます。

放送切換ボタン（BS/CS 4K、地デジ、BS、CS）
- 放送の種類を切り換えます。

数字ボタン
- チャンネルを切り換えます。

チャンネル
- テレビのチャンネルを順番に切り換えます。

シーン/出演者
- シーンや出演者のリストを表示します。

● 録画
- 視聴中の番組の録画を開始します。

タイムシフトリンク
- タイムシフトリンク録画の過去番組表を表示します。

録画リスト
- USBハードディスクに録画した番組のリストを表示します。

カーソル/決定ボタン、ジャンプカーソルボタン
- メニューや番組表などで項目を選択/決定するとき、文字や数字を入力するときに使用します。
- メニューや番組表などでページを切り換えるときに使用します。

戻る
- 前の操作に戻ります。

dデータ
- データ放送に切り換えます。

設定
- 設定メニューを表示します。

番組ガイド
- 番組ガイドを表示します。

電源
- 本機の電源を待機/入します。

画面表示
- 視聴中の放送や外部入力の情報を表示します。

ネット動画/アプリボタン
- 動画配信サービスやアプリの画面に切り換えます。

Net.TV
- Net.TVの画面に切り換えます。

字幕
- 字幕の表示/非表示を切り換えます。

消音
- 音を一時的に消します。

音量 +/−
- 音量を調節します。

レグザナビ
- レグザナビ画面を表示します。

ざんまい
- ざんまいスマートアクセスの画面を表示します。

番組表
- 番組表を表示します。

終了
- 操作を終了します。

カラーボタン（青、赤、緑、黄）
- 画面に表示された各種機能が割り当てられています。

音声切換
- 複数音声の番組で音声を切り換えます。

ボイス
- ボイス機能を使用します。

サブメニュー
- サブメニューを表示します。

再生操作ボタン（早送り/早戻し、再生、スキップ、停止、一時停止、バックスキップ）
- 録画した番組や接続した機器の再生や操作を行います。

乾電池を入れる

● 単四形アルカリ乾電池を2本ご使用ください。お買い上げ時は単四形アルカリ乾電池が2本付属されています。

1 電池カバーをはずす

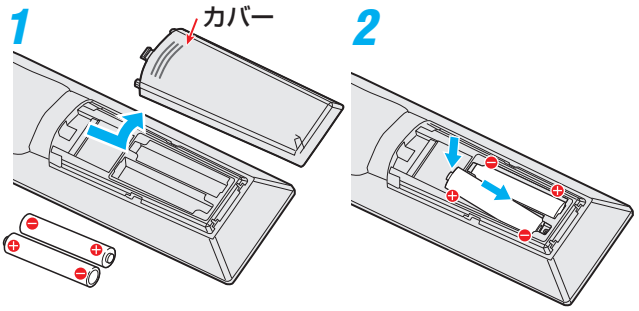
● カバーを下方向に押しながら下げてから、電池カバーを取りはずします。

2 乾電池を入れる

● 極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように入れます。

3 電池カバーを閉める

●カバーをはずしたときと逆の手順で閉め、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。



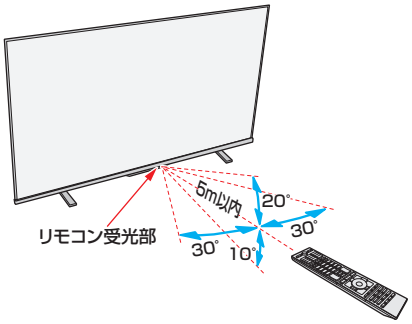
リモコンコードについて

● 本機のリモコンは、リモコンコードの切換ができます（機能操作ガイド「調整・設定をする」》「2台以上のレグザをそれぞれのリモコンで操作する」）。
● お買い上げ時は「リモコンコード1」に設定されています。
※「リモコンコード2」、「リモコンコード3」に設定して使用していた場合、電池交換などでリモコンから乾電池を取りはずすと「リモコンコード1」に戻ることがありますので、ご確認ください。

リモコンの準備をする つづき

リモコンの使用範囲について

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
- 電源が「入」のときに、リモコンで操作をすると、本体前面のLEDが白色に点滅します。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。



- リモコン受光部から
  距離 5m以内
  角度 左右30°以内、
  上20°、下10°以内

※ リモコン発光部は二箇所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

ご注意

■リモコンの取り扱い

- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

お願い

■乾電池について

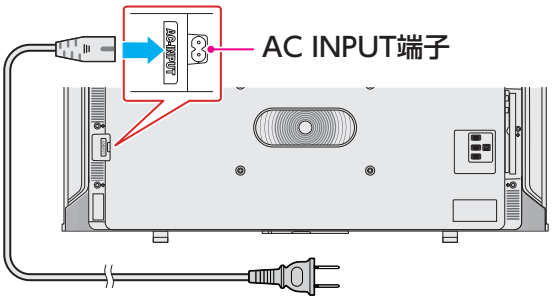
- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

電源を入れる

電源を入れる

電源コードを本体背面のAC INPUT端子にしっかりと接続する

- 電源コードは奥までしっかりと差し込んでください。

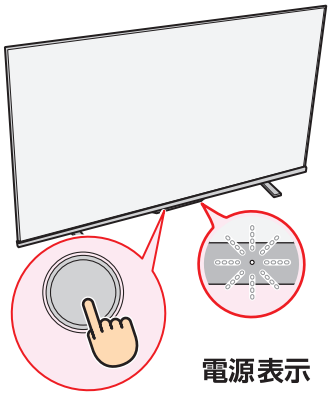


電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください

❶ 本体底面にある本体ボタンの中央部、またはリモコンの 電源 を押す

- 電源が「入」になり、本体前面のLEDが**白色**に点灯し、数秒後に消灯します。



電源を「待機」にする

❶ 電源が「入」のときに、本体底面にある本体ボタンの中央部、またはリモコンの 電源 を押す

- 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、「電源」表示が**赤色**に点灯します。

お願い…電源プラグの取り扱いについて

普段はコンセントに差し込んでおく

- 電源プラグは、非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。

※ **電源プラグを抜いたままにしておくと…**
- デジタル放送の番組情報が取得できません。
- 予約した番組の録画ができません。

電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、予約した番組の録画は、電源が「待機」の場合でも行われます。

電源プラグを抜くときは

- **非常の場合は、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 外部機器の接続や取りはずし、本体や電源プラグのお手入れ、周辺の清掃などで電源プラグを抜く場合は、その前に以下の確認をしてください。

❶ 画面表示 を押して、録画中の表示が出ないことを確認する

❷ 本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする

ご注意

- 旅行などで長期間使用しないときは、安全のためコンセントから抜いてください。

「はじめての設定」をする

「はじめての設定」について

※「電波の状態が良くありません。」のメッセージが表示されたときは、受信状態が良くなってから「はじめての設定」をやり直すとき 26 の操作で「はじめての設定」をやり直してください。

はじめての設定

はじめて電源を入れたときに、「お使いいただく前に」画面が表示されます。テレビをお使いになる場所を◀·▶で選び、決定を押します。

ご注意

- ご家庭でお使いの場合は、「ご家庭」を選んでください。「店頭」を選ぶと、店頭展示用の設定になります。

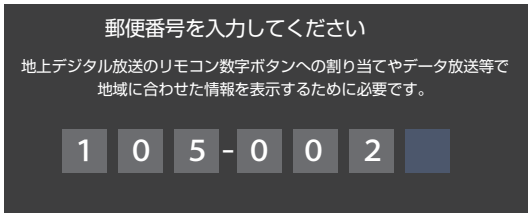
① 地域設定

- お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。

1 お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10 で入力し、決定を押す

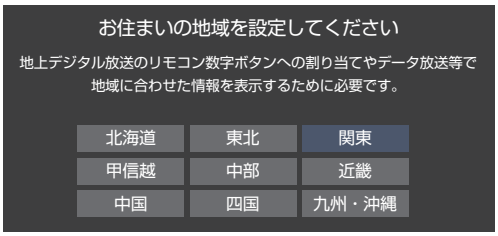
- 「0」は 10 で入力します。
- 間違えて入力したときは、◀を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。
- 郵便番号入力で、上3ケタを入力して決定を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例



2 お住まいの地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例



3 お住まいの都道府県を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 「地域設定」が終わると、「地上デジタルチャンネル設定」の画面が表示されます。

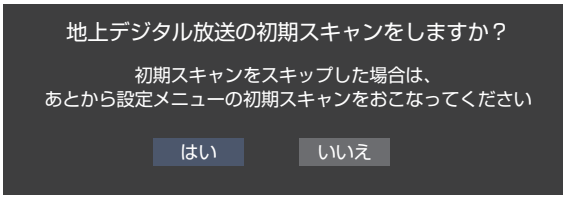
② 地上デジタルチャンネル設定

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定します。

1 画面の説明を読み、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

※ お住まいの地域で地上デジタル放送が運用されていない場合は、「いいえ」を選んで「③BS・110度CSアンテナレベル確認」に進みます（わからない場合は、「はい」を選びます）。

例



- 「はい」を選ぶと初期スキャンが自動的に始まります。終了すると、手順 *2* の画面が表示されます。

2 地上デジタルチャンネルの設定内容を確認し、決定を押す

- 画面は、リモコンのワンタッチ選局ボタンに設定された地上デジタル放送の放送局を一覧で示しています。

例

初期スキャンが完了しました。

1	011	NHK総合・東京
2	021	NHKEテレ東京
3	031	tvk
4	041	日本テレビ
5	051	テレビ朝日
6	061	TBS
7	071	テレビ東京
8	081	フジテレビジョン
9	091	TOKYO MX
10	031	テレ玉
11	---	---
12	---	---

- 設定された内容を変更する場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「チャンネルをお好みに手動で設定する」（機能操作ガイド「調整・設定をする」》「チャンネルをお好みに手動で設定する」）の操作をしてください。
- 「地上デジタルチャンネル設定」が終わると、「BS・110度CSアンテナレベル確認」の画面が表示されます。

お知らせ

■「地上デジタルチャンネル設定」について

- 「はじめての設定」または「初期スキャン」をすることで、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを本機が探し、リモコンの 1 ～ 12 に自動設定します（「はじめての設定」または「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません）。

■ 地方と地域の設定について

- チャンネルの自動設定は、「はじめての設定」で設定された地方、地域に基づいて行われます。
- チャンネル設定の地域は必ずしもお住まいの地域とは限らないため、地域に密着したデータ放送を視聴するために郵便番号を設定します。

「はじめての設定」をする つづき

③ BS・110度CSアンテナレベル確認

● 衛星放送の電波の強さを確認します。

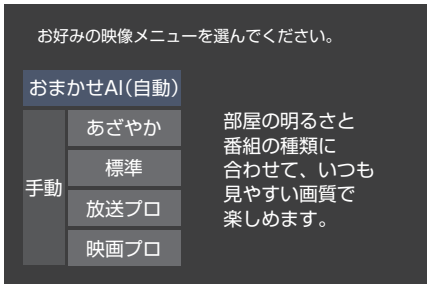
1 アンテナの受信状態を確認し、決定を押す

● 「BS・110度CSアンテナレベル確認」が終わると、「映像メニュー設定」の画面が表示されます。

④ 映像メニュー設定

● 本機にはいくつかの「映像メニュー」が用意されています。メニューを選択したときに表示される画面の説明を読んで、お好みの映像メニューに設定してください。

1 お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す



● 「映像メニュー設定」が終わると、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。

⑤ ネットワーク設定

● 本機をネットワークに接続し、ネットワーク機能を利用する場合に設定します。先に設定だけを済ませ、接続はあとから行うこともできます。

1 設定する場合は「はい」を選び、決定を押す

● 「いいえ」を選んだ場合は、「⑥ サービス利用設定」26へ進みます。

2 無線LANまたは有線LANの設定をする

※ 有線LANと無線LANは同時に使えません。

有線LANの設定をする

❶「有線LAN」を選び、決定を押す

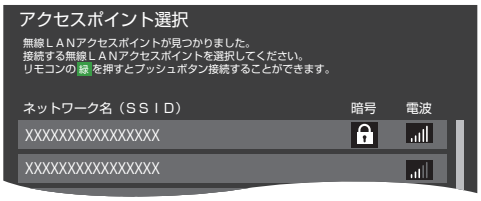
● 手順**3**へ進みます。

無線LANの設定をする

❶「無線LAN」を選び、決定を押す

● アクセスポイント選択画面が表示されます。

例



❷ 次のどれかの方法でアクセスポイントを設定する

・アクセスポイント選択

・プッシュボタン接続

● 接続する無線LANアクセスポイント(ルーター)に合わせて、設定方法を選びます。

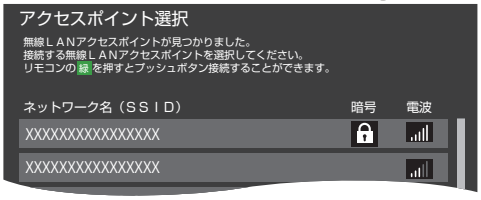
● お使いの無線LANアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書も、お読みください。

アクセスポイント選択

● 本機が使用可能な無線LANアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。

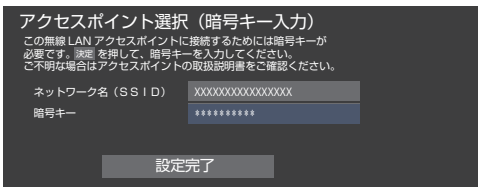
① 表示された接続可能な無線LANアクセスポイント(ルーター)から、本機の接続先を選び、決定を押す

例



② 決定を押して文字入力画面を開き、①で選択した無線LANアクセスポイント(ルーター)の暗号キーを入力する

例



● 暗号キーについては、お使いの無線LANアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書をご覧ください。

● 文字入力の方法は、40をご覧ください。

③「設定完了」を選び、決定を押す

④ 設定内容を確認し、決定を押す

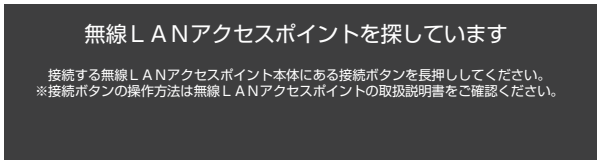
例

● 手順**3**に進みます。

プッシュボタン接続

- 「接続ボタン」が押されて使用可能になった無線LANアクセスポイント(ルーター)を本機が検出し、接続します。

① 緑 を押す

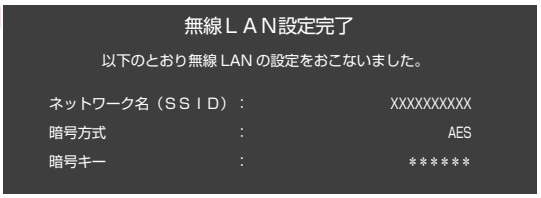


② 無線LANアクセスポイント(ルーター)の接続ボタンを押す

- 本機がアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。
- 接続に成功すると、設定内容が表示されます。

③ 設定内容を確認し、決定 を押す

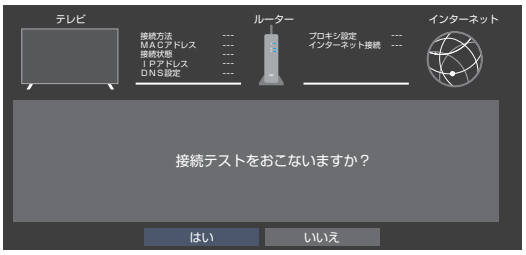
例



- 手順**3**に進みます。

3 接続テストをする場合は「はい」を選び、決定 を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選んで「ネット配信コンテンツを高画質で視聴しますか？」の確認画面に進みます(必要になったときに「インターネットに接続するための設定をする」(機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「インターネットに接続するための設定をする」)の操作をしてください)。



- 「接続できませんでした。」と表示された場合、有線LAN設定のときは、LANケーブルの接続を確認してから再度接続テストをしてください。
  無線LAN設定のときは、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストをしてください。

4 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定 を押す

- 「ネット配信コンテンツを高画質で視聴しますか？」画面が表示されます。

5 「はい」または「いいえ」を選んで 決定 を押す

- 「はい」にすると「ネット動画ビューティ」機能が働きます。視聴環境に合わせて、ネット動画の映像が自動的に調整されます。
- 「ネットワーク設定」が終わると、「サービス利用設定」の画面が表示されます。

お知らせ

■ 電波強度表示について

- 本機が無線LANアクセスポイント(ルーター)から受信する電波の強弱によって以下のように6段階のイメージで表示されます。

弱 ▸ ▸ ▸ ▸ ▸ 強

「はじめての設定」をする つづき

⑥ サービス利用設定

- インターネットに接続して、クラウドサービスなどのネットワークサービスを利用するには、「レグザプライバシーポリシー」を「同意する」に設定します。
  ※クラウドサービスの開始には、ソフトウェアの更新が必要になる場合があります。

1 画面のサービス紹介を確認する

- ネットワークサービスに関する紹介が表示されます。決定を押すと先に進みます。

2 レグザプライバシーポリシー画面の内容を最後まで読み、◀·▶で「同意する」または「同意しない」を選び、決定を押す

- 「同意しない」を選んだ場合は、設定終了画面が表示されます。決定を押すと「はじめての設定」を終了します。
- 「同意しない」を選んだ場合は、レグザナビ、番組ガイドなどの機能の一部が使用できません。

3 アンケートの内容を読み、▲·▼·◀·▶でで項目を選ぶ、もしくは 1 ～ 10 で入力し、決定を押す

- 「0」は 10 で入力します。
- 間違えて入力したときは、◀を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。
- アンケートに答えると、設定終了画面が表示されます。決定を押すと「はじめての設定」を終了します。

「はじめての設定」をやり直すとき

- 「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「はじめての設定」をやり直すことができます。

1 設定 を押し、▲·▼と決定で「初期設定・機能操作ガイド」⇨「はじめての設定」の順に進む

- 「はじめての設定」の説明画面が表示されます。

2 画面の説明を読んで、決定を押す

- ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動でお好みに設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度チャンネルボタン設定をしてください。
- データ放送を視聴している状態で「はじめての設定」をやり直した場合、放送によっては設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

お知らせ

■ レグザプライバシーポリシーについて

- レグザプライバシーポリシーを「同意する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切換、入力切換、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- クラウドサービスなどのネットワークサービス(以下「本サービス」と表します)のご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力は不要です(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください)。
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善やマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。ただし、お客様が特定のキャンペーン提供会社に対して、本機の利用履歴やお客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)を提供することに同意された場合は、当社はその情報をお客様が同意したキャンペーン提供会社へ提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- レグザプライバシー設定は、あとから変更できます(機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「クラウドサービスとネットワークサービスについて」)。
- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、当社は一切関与いたしません。
- レグザプライバシーポリシーを「同意しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。なお、お客様のプロフィール情報(ご登録いただいた性別等の情報)は、本機の「すべての初期化」を行って次にネットワークにつないだときに、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

録画機器を接続する

録画できる機器と番組

● USB（通常録画）端子に接続した**USBハードディスク**および**レグザリンク対応の東芝レコーダー**＊に**デジタル放送番組**を録画できます（データ放送、ラジオ放送番組、外部入力（HDMI1 ～ 4、ビデオ入力）、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません）。

＊ レグザリンク対応の東芝レコーダーの接続は14をご覧ください。

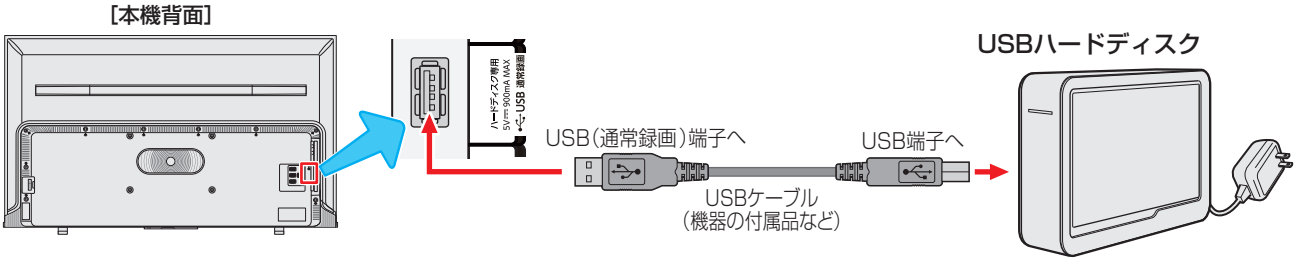
USBハードディスクの接続をする

ご注意

● パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
● 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
● 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の「機器の取りはずし」（機能操作ガイド「録画機器を使う」》「USBハードディスクの設定をする」）の手順で操作してください。
● USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。
● 本体側面のUSB端子にUSBバスパワー方式の機器を接続して同時に使用すると、USBハードディスクでの録画動作に障害を与えることがあります。
● **USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。本機で**接続確認済の機器でもACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。

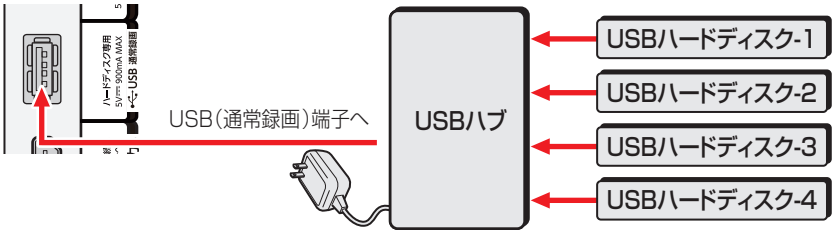
USBハードディスクが1台のとき

● USBハードディスクは、USB（通常録画）端子に接続します。



USBハードディスクが複数台のとき

● USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。
※ 8台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは4台までです。



お願い

● 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。
USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
● 登録の手順については、次ページの「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。

お知らせ

● 複数台のUSBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続することはできません。
● 本機で接続確認済のUSBハードディスクとUSBハブについては、ホームページ（https://www.regza.com/regza）をご覧ください。
● 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

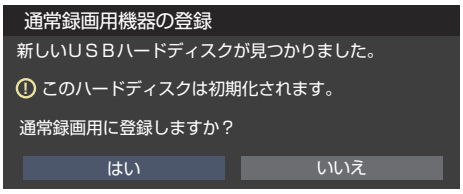
録画機器を接続する つづき

USBハードディスクを本機に登録する

● 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 ◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 登録しないときは「いいえ」を選びます。



※「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、機能操作ガイド「USBハードディスクの設定をする」に記載の「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

3 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

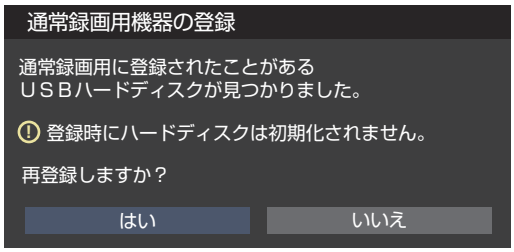
● 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。
※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。

● 決定 を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから 決定 を押します。

4 登録結果の内容を確認し、終了 を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

● 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



● 「はい」を選んで 決定 を押すと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録（新しいハードディスク）として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

ホームネットワークについて

● ホームネットワーク(家庭内LAN)に本機と、ネットワークメディアサーバーやDTCP-IP対応の東芝製テレビ/レコーダーなどを接続し、動画、音楽、写真や録画した放送番組を再生して楽しむことができます。

ネットワークメディアプレーヤー

● 本機はネットワークメディアプレーヤー（動画/静止画)です。
ネットワークメディアサーバーが公開しているコンテンツを本機で視聴することができます(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「動画を再生する」)。

※ ネットワークメディアプレーヤー機能はDTCP-IPに対応していません。

スマートフォンやタブレットPC（レグザAppsコネクト）

● スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。

タイムシフトリンク機能

● 同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできます。

* DTCP-IP(「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略)は、ネットワーク上でデジタル放送などの著作権保護付データを配信するための規格です。この規格に対応すれば、著作権保護付データ(たとえば、1世代だけ録画が許された番組など)をホームネットワーク上で扱うことができます。また、ホームネットワーク外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付データを保護します。

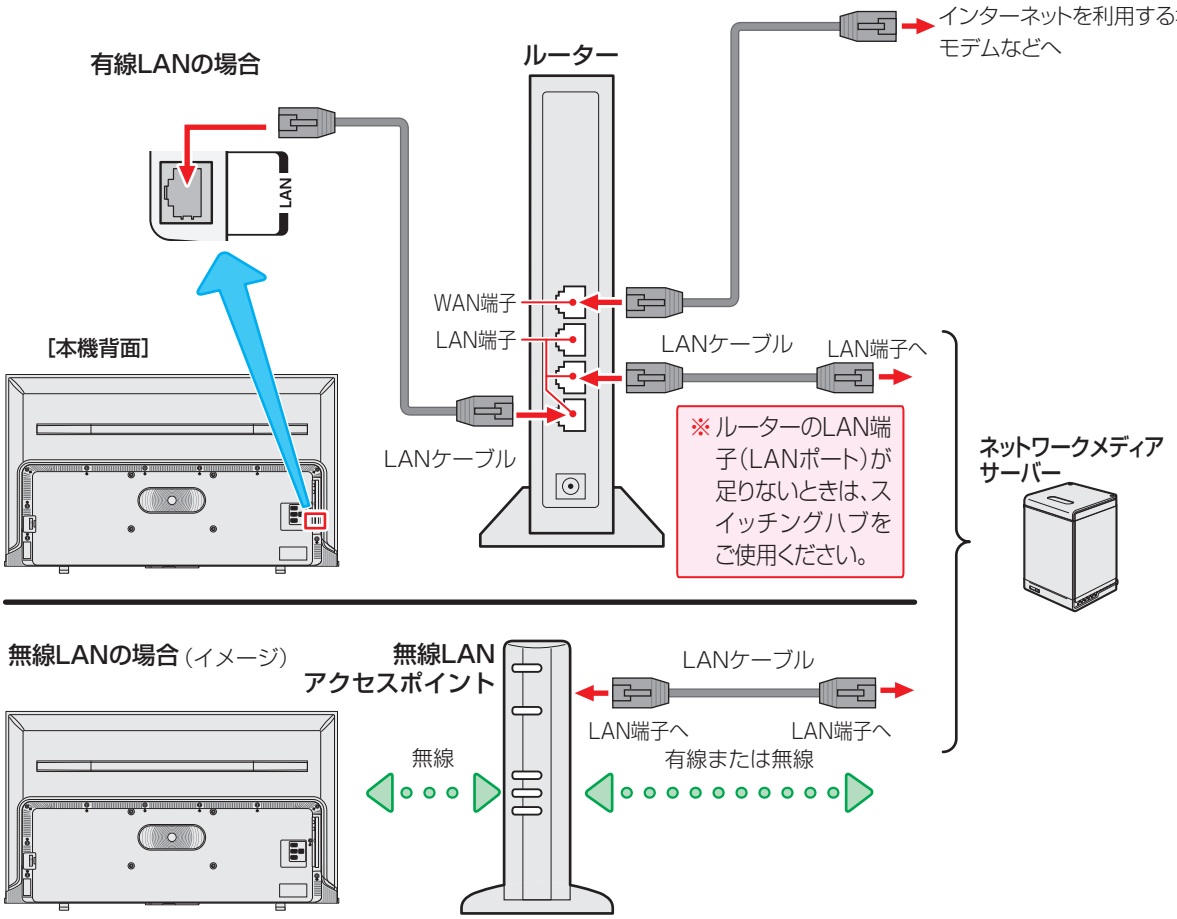
お知らせ

● ネットワークメディアサーバーが公開している一部のコンテンツ(本機対応フォーマット以外のコンテンツなど)は再生できないことがあります。
● ネットワークメディアサーバーを接続した場合、2台目以降の機器が機器選択の画面に表示されるまでに15分程度の時間がかかることがあります(機器選択画面を終了させて、もう一度機器選択画面を出すと表示されることもあります)。
● 本機のご使用環境や動作状態によっては、配信の映像が乱れたり、配信できないことがあります。その場合、不要な動作があれば、それを中止してみてください。

ホームネットワークの接続・設定をする

機器を接続する

● 有線LANのブロードバンドルーターの場合は、本機と機器を接続します。無線LANアクセスポイントの場合は、本機を無線LANで接続する設定をします（有線LANか無線LANのどちらかを選びます。両方を同時に使用することはできません）。



お知らせ

● 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントおよび本機の設定を見直すか、有線LANで接続してください。
● すべての無線LANアクセスポイントでの接続を保証するものではありません。
● 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
● 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、デジタル放送などの著作権保護付データをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのデータを取り扱う場合も、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。42

機器のネットワーク設定を確認する

● 「アドレス設定（ＩＰｖ４）」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」ともに「自動取得」で使用する前提です。「ＩＰｖ６接続」が「利用する」の場合は、「IPアドレス」、「DNSアドレス」は自動取得される前提です。
● 接続機器側でMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、本機からのアクセスを許可するように設定してください。本機のMACアドレスは、「ネットワーク情報」（機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「ネットワーク情報」）の操作で確認できます。
● 本機で接続機器のネットワーク設定はできませんので、あらかじめルーターや接続機器側で設定してください（ルーターや接続機器の取扱説明書をご覧ください）。

❶ ルーター、ネットワーク接続機器、本機の順に電源を入れる

❷ 「ネットワーク情報」（機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「ネットワーク情報」）の操作で「アドレス情報（ＩＰｖ４）」の「ＩＰアドレス」を確認する

● ホームネットワーク接続機器のIPアドレスは、プライベートアドレス（下表の範囲のどれか）でなければなりません。

区分	使用できるアドレスの範囲
A	10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
B	172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
C	192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

● 本機でインターネットにアクセスする場合、双方向サービス、クラウドサービスなどを利用する場合は、ご使用のインターネット接続環境によっては本機のアドレスをグローバルアドレスに設定し直す必要があります。

❸ 「ＩＰｖ６接続」が「利用する」の場合は、「ネットワーク情報」（機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「ネットワーク情報」）の操作で「アドレス情報（ＩＰｖ６）」の「アドレス」も確認する

● 以下のアドレスには設定できません

設定不可アドレス一覧

IPアドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトルート(::/128、::/0)
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス(::1/128)
0100 0000 0000 0000 **** **** **** ****	破棄するトラフィック(0100::/64)
2001 001* **** **** **** **** **** ****	ORCHIDアドレス(2001:0010::/28)
2001 002* **** **** **** **** **** ****	ORCHIDv2アドレス(2001:0020::/28)
2001 0db8 **** **** **** **** **** ****	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス(2001:db8::/32)
fe8* **** **** **** **** **** **** ****	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス(fe80::/10)
fe9* **** **** **** **** **** **** ****	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス(fe80::/10)
fea* **** **** **** **** **** **** ****	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス(fe80::/10)
feb* **** **** **** **** **** **** ****	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス(fe80::/10)
ff** **** **** **** **** **** **** ****	マルチキャストアドレス(ff00::/8)
<プレフィックス長により異なる、下は64の例>	
**** **** **** **** 0000 0000 0000 0000	「サブネット・ルータ・エニーキャストアドレス」(インターフェイスIDがオール0)
デフォルトゲートウェイ、DNSアドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトルート(::/128、::/0)
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス(::1/128)
0100 0000 0000 0000 **** **** **** ****	破棄するトラフィック(0100::/64)
2001 001* **** **** **** **** **** ****	ORCHIDアドレス(2001:0010::/28)
2001 002* **** **** **** **** **** ****	ORCHIDv2アドレス(2001:0020::/28)
2001 0db8 **** **** **** **** **** ****	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス(2001:db8::/32)
ff** **** **** **** **** **** **** ****	マルチキャストアドレス(ff00::/8)

接続機器から本機を操作するための設定をする ～外部連携機能～

レグザAppsコネクトの設定

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。
- 本機のレグザAppsコネクト機能を使う場合は、以下の設定をします。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「レグザAppsコネクト」の順に進む

レグザAppsコネクト

- レグザAppsコネクトを利用するか利用しないかを設定します。

❶ ▲·▼で「利用する」または「利用しない」を選び、決定 を押す

本機の名称

- ホームネットワークに接続された機器から本機を識別するための情報(デバイスネーム)を設定することができます。
- お買い上げ時は本機の形名(例：REGZA-65Z875)に設定されています。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「本機の名称」の順に進む

2 決定 を押し、文字入力画面で新しい名前を入力する

- 文字入力の方法は、40 をご覧ください。
- 15文字以内で設定します。使用できる文字は半角大文字英数字と「-」です。

ホームネットワークの接続・設定をする つづき

接続機器を本機から起動するための設定をする ～リモート電源オン機能～

● ネットワーク接続での起動(Wake on LAN)に対応した機器を相互に登録しておくと、番組再生などの際に本機が起動していないときに接続機器の操作で相手の機器を起動する(電源を入れる)ことができます。
● 対象の機器を接続して電源を入れ、以下の操作をします。
※ 接続機器(Wake on LAN対応機器)側でも以下と同様の設定をしてください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。
- 本機のデバイスネームについては前ページの「本機の名称」を参照してください。本機のMACアドレスは「ネットワーク情報」(機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「ネットワーク情報」)の操作で確認することができます。

本機のリモート電源オン機能を設定する

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「リモート電源オン設定」の順に進む

2 ▲·▼で「外部機器から電源オン」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

● 「オン」に設定すると、Wake on LAN対応機器から本機を起動できるようになります。

ご注意

● 「オン」に設定すると、待機時の消費電力が増えます。

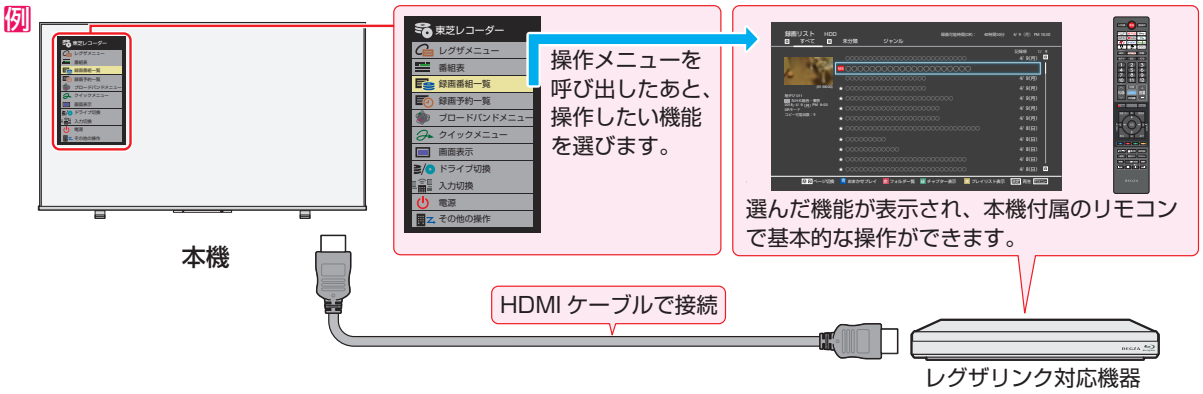
レグザリンクについて

レグザリンク機能でできること

● 本機は以下のレグザリンク機能(HDMI連動)に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

● 本機に接続したレグザリンク対応の録画機器や再生機器などの操作が本機のリモコンでできます(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「本機のリモコンで対応機器を操作する」)。



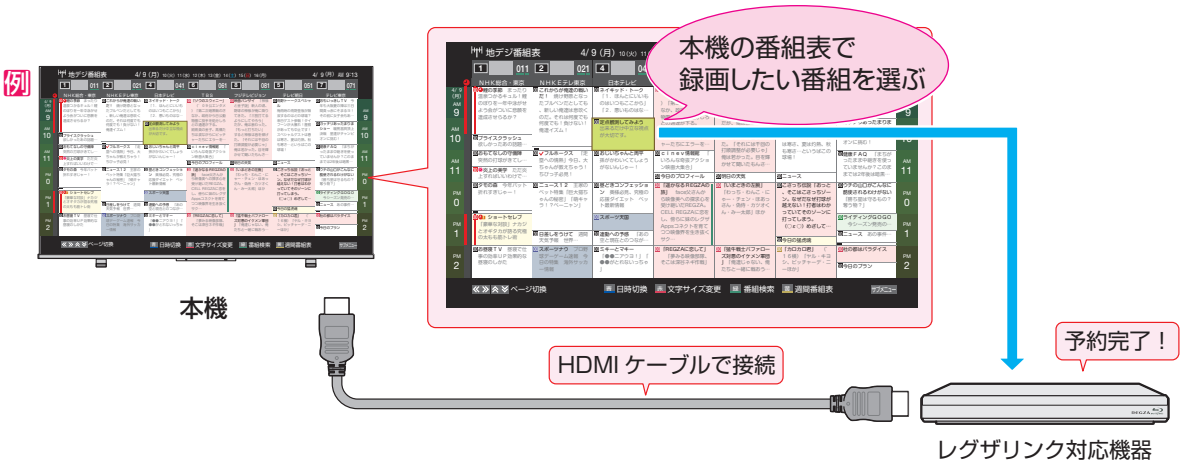
電源の入／切や入力切り換えの動作を連動させる

● **ワンタッチプレイ** …… レグザリンク対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。

● **システムスタンバイ** …… 本機の電源を「待機」にすると、機器も連動して電源が「切」(待機)になります。

対応機器に録画・予約をする

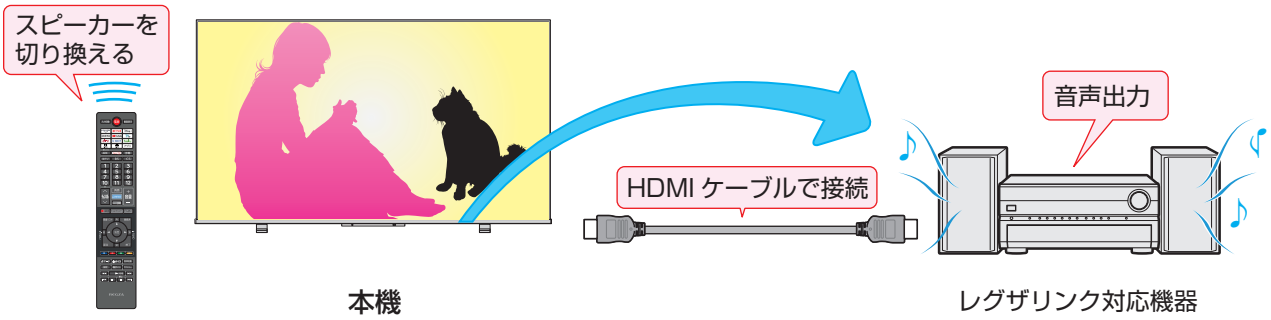
● 本機に接続したレグザリンク対応機器に録画や予約をすることができます(機能操作ガイド「録画機器を使う」》「録画・予約をする」)。



オーディオ機器と連携させる

● オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。また、ジャンルに適した音声がオーディオ機器のスピーカーから出るようにすることもできます。(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「レグザサウンドシステムで聴く」)。

例 音声を対応機器のスピーカーで聴く



レグザリンクについて つづき

準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
HDMI連動対応の 映像機器やオーディオ機器	映像機器の接続：15 オーディオの接続：17	● **レグザリンク(HDMI連動)機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。** ● レグザリンク対応の映像機器やオーディオ機器については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

HDMI連動機能について

- 本機のレグザリンク(HDMI連動)機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
- 本機とレグザリンク対応の東芝レコーダーなど当社推奨の機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。
  - 「録画・予約する」の章に記載されているレグザリンク対応の東芝レコーダーへの録画・予約の操作も、HDMI連動機能を利用したものです。
- 接続確認済機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
- 接続確認済機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができないことがあります。
- HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
  - 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
  - すべての接続機器の動作を確認してください。

  ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化することがあります。

オーディオ機器について

- オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ないことがあります。
- オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しないことがあります。

オンキヨー製オーディオ機器でHDMI連動機能を利用する場合のお願い

- 対象機種については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)の接続確認済み機器をご覧ください。
- オーディオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにオーディオ機器が正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、オーディオ機器の電源を入れ直してください。

  ※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とオーディオ機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

お知らせ

- レグザリンク対応機器については、ホームページ（https://www.regza.com/regza/）でお知らせしています。

※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

■ **システムスタンバイについて**

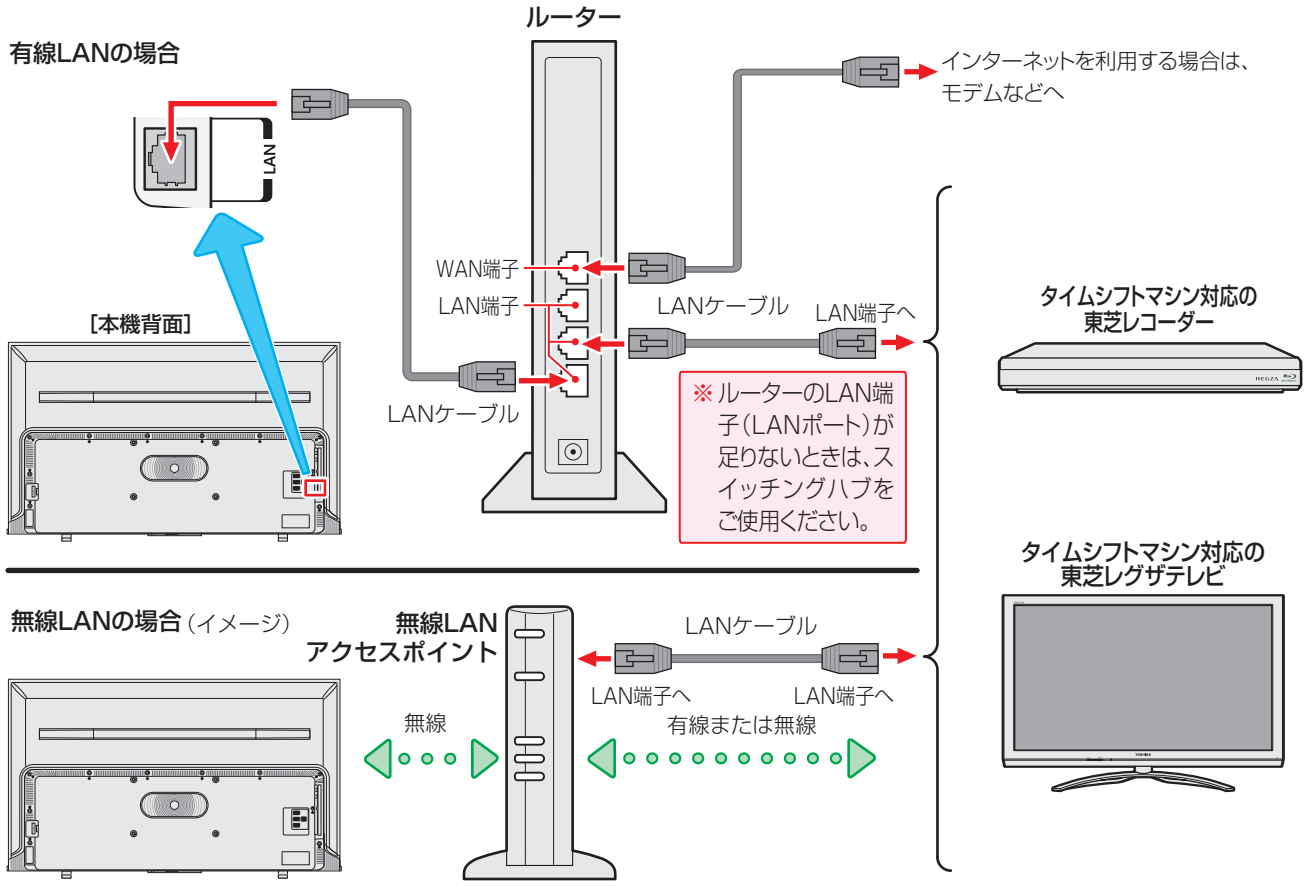
- 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
- 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

タイムシフトリンク機能の接続・設定をする

● タイムシフトリンク機能は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできる機能です。

※ タイムシフトリンク機能を利用するには、ホームネットワークでの接続と設定 30 ～ 32、およびタイムシフトリンク機能の設定が必要です。

機器を接続する



タイムシフトリンク機能を使う設定をする

● タイムシフトリンク機能で操作する機器を選びます。

● タイムシフトリンク機能で連携する機器の電源を入れて、サーバー機能の設定をしてから、以下の操作をしてください。

1 **設定 を押して、▲·▼と 決定 で「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「機器の登録」の順に進む**

2 **▲·▼を押して、タイムシフトリンク機能で使用する機器を選び、決定 を押す**

● 選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、再生したりできます。

※ 選んだ機器のネットワークの状態や接続を変更したときに、本機でタイムシフトリンク機能を使用する機器として認識できなくなった場合は、上記の操作で再度機器を選んでください。

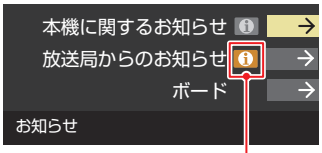
※「使用しない」を選んだ場合は、タイムシフトリンク機能は働きません。

お知らせを見る

- お知らせには、「本機に関するお知らせ」、「放送局からのお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ(「ボード」を除きます)があると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに、画面に「お知らせアイコン」 が表示されます。

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「お知らせ」の順に進む

2 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定 を押す



未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- **本機に関するお知らせ**…本機が発行したお知らせです。
- **放送局からのお知らせ**…デジタル放送局からのお知らせです。
- **ボード**……110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 読みたいお知らせを▲·▼で選び、決定 を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

画面に「本機のお知らせを確認」が表示されたときは

❶ 青 を押す

- 「本機に関するお知らせ」が表示されます。
- お知らせが複数件ある場合は、「本機に関するお知らせ」一覧が表示されます。▲·▼で確認するお知らせを選び、決定 を押して表示させます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

お知らせ

■「お知らせ」について

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が10通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- BS 4K放送とCS 4K放送は、それぞれ10通まで記憶されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- 「お知らせアイコン」は、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

ACASチップ情報を確認する

- ACASチップの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。
- ACASチップは、新しいCASの方式です。本機には、この新CASのプログラムを書き込んだ「ACASチップ」が搭載されています。

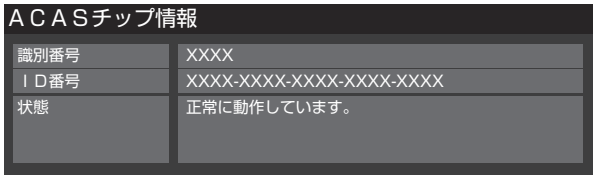
※ **ACASチップには、これまでのB-CASカードの機能も含まれています(B-CASカードは付属していません)。**

ACASチップ情報を確認する

- ACASチップの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。

1 設 定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「ACASチップ情報」の順に進む

- ACASチップの情報が表示されます



ＡＣＡＳチップ情報

識別番号	XXXX
ＩＤ番号	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
状態	正常に動作しています。

2 情報を確認したら、戻る を押す

ACASチップID番号記入欄

- 下欄にACASチップのID番号を記入しておくと、有料放送のご契約やお問い合わせの際などに役立ちます。

ACASチップ

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
  ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ（https://www.regza.com/regza/support/）でお知らせしています。
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用してサーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」（お買い上げ時の設定）にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。
  更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します（情報を確認する操作はありません）。
  放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

自動ダウンロードの設定を変更する

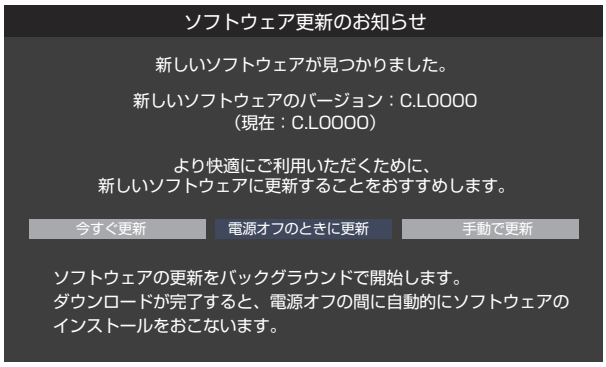
1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む

2 ◀·▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

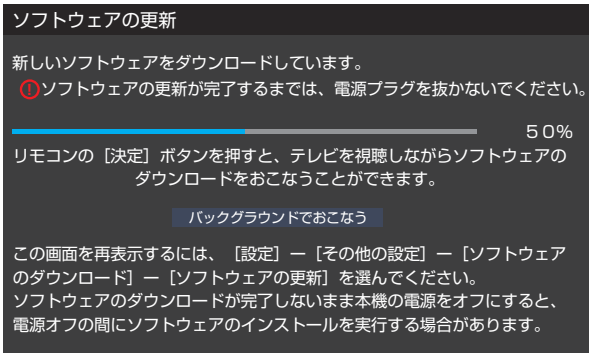
- 青 を押すと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 手動でソフトウェアの更新をすることもできます。

ソフトウェア更新のお知らせ

- インターネットに接続している場合、本機の電源を入れた時に更新用のソフトウェアを検出すると「ソフトウェア更新のお知らせ画面」が表示される場合があります。
  ※「自動ダウンロード」の設定が「する」に設定されている場合、通常は「ソフトウェア更新のお知らせ」画面を表示せずに自動的にソフトウェアの更新をおこないます。



- ◀·▶で以下のどれかを選び、決定 を押します。
  - **今すぐ更新**
    ソフトウェアの更新を始めます。



- 「バックグラウンドでおこなう」を選んで【決定】を押すと、ダウンロードをバックグラウンドでおこない、テレビを操作できるようになります。ダウンロード画面を再度表示するには、「サーバーから手動でダウンロードする」の手順をおこなってください。
  - **電源オフのときに更新**
    バックグラウンドでソフトウェアのダウンロードを開始し、本機の電源が待機状態の間に、ソフトウェアの更新処理をおこないます。
  - **手動で更新**
    ソフトウェアの更新は始めません。「サーバーから手動でダウンロードする」の操作でソフトウェアをダウンロードします。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。

■ **サーバーからのダウンロードについて**

- 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

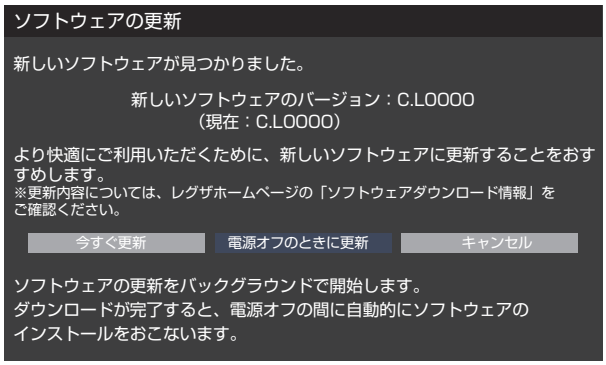
ソフトウェアを更新する つづき

サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用してサーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定20が必要です。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアの更新」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



※ 新しいソフトウェアのダウンロード中の場合は、ダウンロードの進捗が表示されます。

2 ◀·▶で「今すぐ更新」、または「電源オフのときに更新」を選び、決定 を押す

- 「今すぐ更新」、「電源オフのときに更新」を選択したときの動作は前ページの「ソフトウェア更新のお知らせ」と同じです。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 サブメニュー を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「本機の情報」の順に進む

- 設定 ⇨「その他の設定」⇨「本機の情報」でも確認できます。

ソフトウェアのバージョンアップ予定

● 本機では、ソフトウェアのバージョンアップによる機能の追加が予定されています。
バージョンアップ用ソフトウェアが利用可能になり、「ソフトウェアを更新する」37 でソフトウェアが更新されると、追加機能が利用できるようになります。(「サーバーから手動でダウンロードする」38 の操作でもソフトウェアの更新ができます)
バージョンアップ用ソフトウェアについては、ホームページ(https://www.regza.com/regza/support/)でお知らせしています。

● 追加された機能の操作のしかたについては、以下のホームページの「取扱説明書ダウンロード」に、「Z570L追加機能編」がZ570Lシリーズの取扱説明書と一緒に掲載されることがありますのでご確認ください。

https://www.regza.com/regza/

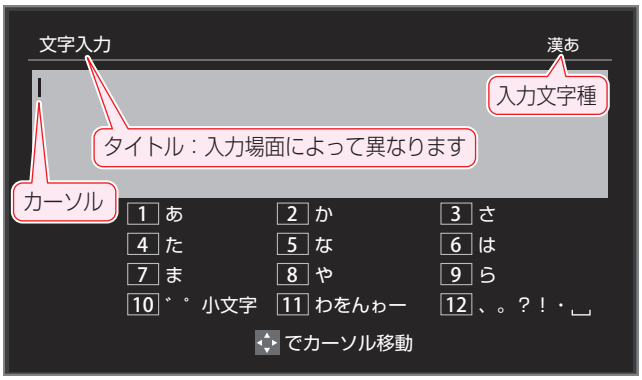
バージョンアップで追加を予定している機能

- ホームサーバー機能
本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます。
- ダビング機能
本機で録画した番組を、他のレコーダーなどへダビングすることができます。
- スマートスピーカー連携
対応するスマートスピーカーと連携して、スマートスピーカーに話しかけることでテレビを操作することができます。

※ 一部のネットワークサービスのご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
※ 上記バージョンアップの予定のある機能以外に、新たな機能が追加される場合があります。
※ バージョンアップの時期については、機能によって異なる場合があります。
※ お買い上げの時期によっては、上記の機能が追加されている場合があります。
その場合は、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)の「取扱説明書ダウンロード」にZ570Lシリーズの取扱説明書と一緒に「Z570L追加機能編」が掲載されることがありますのでご確認ください。

文字を入力する

● 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1 1 ～ 12 で文字を入力する

● 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

➡ 2、10、4(6回)、2(5回)、1(3回)
が　っ　こ　う

「っ」の別の入力方法➡ 4(3回)、10(1回)
っ

● 文字に続けて 10 を押せば、濁点(゛)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい ➡ 1、▶、1(2回)
あ　い

● 入力文字の種類を変えるときは、青(文字切換)を押します。

● 文字を挿入するには、挿入する場所を▲･▼･◀･▶で選んで入力します。
« ･ » を押すと、カーソルがその行の先頭または末尾に移動します。

● スペースを入力するときは、緑を押します。

文字を削除するには

● 1文字を削除するには、赤を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。

● 文字をまとめて削除するには、赤を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

● **漢字に変換しないときは、決定を押す**

● **漢字に変換するときは、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら決定を押す**

3 すべての入力が終わったら、決定を押す

● 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「ａＡ」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「１２」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

● 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→カ→ケ	a→b→c→A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ→や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ→ヤ→ユ→ヨ	t→u→v→T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9
10	小文字変換→゛→゜	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→わ→ー	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。→ー	※1	＊
12	、→。→？→！→・→␣(スペース)	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

● 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→@
半角英字の場合……. → / → : → - → _ → ~ → @

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

お知らせ

● 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景／未確定の文字：白色背景／漢字変換候補選択中の文字：黒色背景／確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に 戻る を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力（ビデオ入力、HDMI入力1 ～ 4）の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感があることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合
- 電源起動時にパネルの調整を行うため、映像が表示されるまでに時間がかかります。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。

❶【画面表示】を押して、録画中の表示が出ないことを確認する

❷ 本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする

❺ 電源プラグをコンセントから抜く

遠隔操作について

- リモコン、またはレグザAppsコネクトなどを利用してスマートフォンやタブレットPCからテレビを操作するときは、本機が見える位置から操作してください。

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に接続した機器を録画・録音した内容の長期保存として使用しないでください。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
  - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
  - 録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。
  - 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。

著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。

4K映像の表示について

- 本機はBS・110度CSの4K放送に対応しています。
- HDMIの4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

本機の無線LAN/Bluetoothを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN/Bluetooth）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 無線LANの2.4GHz帯とBluetoothは同じ周波数帯を使用するため、同時に使用すると、電波が干渉し合い通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの無線LANを5GHz帯に設定してお試しください。
- 本機の無線LANおよびBluetoothが使用する周波数帯は、それぞれ2.4GHz帯/5GHz帯と2.4GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANやBluetoothを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

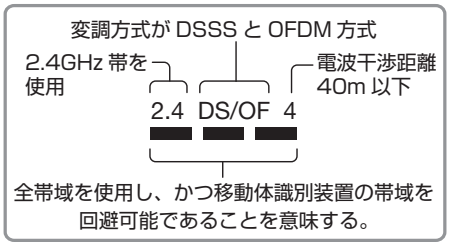
1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝テレビご相談センターへお問い合わせください。

連絡先：東芝テレビご相談センター

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル（通話料：無料）
0120-97-9674
【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル（通話料：有料）
0570-05-5100

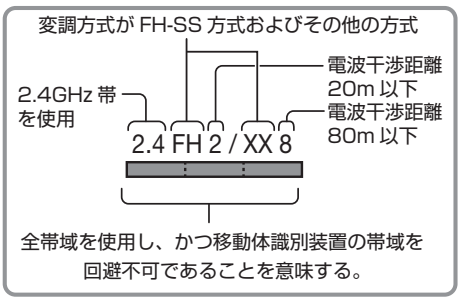
※ IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、03-6830-1048（通話料：有料）

- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用することは、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。
- 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。
- **無線LAN：**



使用上のお願いとご注意 つづき

- Bluetooth：



● 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
~~J52~~	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯（中心周波数帯）
IEEE 802.11 b/g/n		1～13	2.412～2.472GHz
IEEE 802.11 a/n/ac	W52	36,40,44,48	5.18～5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26～5.32GHz
	W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140	5.50～5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

● 無線LANの性能や環境条件による影響など
無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
- 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
- 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

● 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗する場合があります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

● 本機のBluetoothは、以下の規格を使用しています。
規格：
Bluetooth Specification Ver.4.2
周波数帯　　：2.4GHz帯

● Bluetoothの性能や環境条件による影響など：
- Bluetoothは、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、無線ネットワークの使用状況などに影響されます。
- 本機は、USB接続のBluetoothアダプターには対応していません。本機のUSB端子にUSB接続のBluetoothアダプターを接続した場合、内蔵のBluetoothが正常に動作しなくなる場合があります。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

● 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。

- **通信内容を盗み見られる**
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容
などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。
- **不正に侵入される**
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまうおそれがあります。

● 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

● 「すべての初期化」（機能操作ガイド「調整・設定をする」》「お買い上げ時の設定に戻すには」）で、暗証番号や双方向サービスの情報（住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報）、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。

● **廃棄時にご注意ください**
家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

● 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、故意過失ある場合を除き当社は一切の責任を負いません。

● 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 本機に接続した機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組み合せによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。

● 他の接続機器との組み合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。

● 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

注意

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

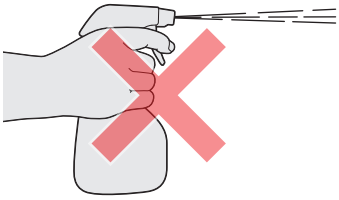
- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットや画面（液晶パネル）が溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットや画面の表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

画面のお手入れは特にやさしく

- 画面の表面は樹脂でできています。固い布や紙でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つき、映像の品位が低下します。やさしくふくようにしてください。
- 画面の内面はガラスでできています。たたいたり、押したりして力を加えると、画面が割れてテレビが見られなくなってしまいます。やさしく取り扱ってください。

※ ふだん、小さなお子様などが画面に触れたり、たたいたりしないようにご注意ください。

キャビネットと画面のお手入れ

1 キャビネットや画面に付着しているゴミ、ホコリを払う

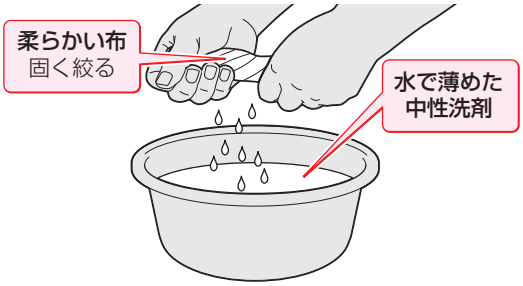
- 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。

※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。

2 乾いた脱脂綿または柔らかい布（綿、ガーゼなど）でやさしくふき取る

汚れが落ちにくいときは

- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤（中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める）に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、汚れをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。



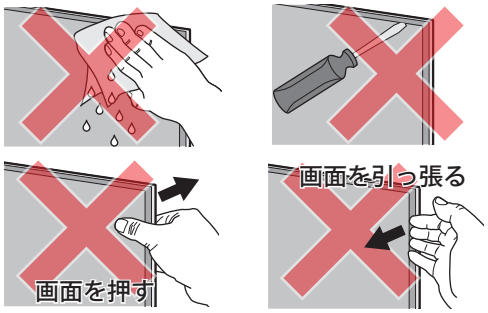
※ 手に水滴がついているときは、テレビに触れる前にふき取ってください。

※ 洗剤が濃いと画面などに残ってしまいます。その場合は、水だけで固く絞った脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

※ 画面をぬらしたまま放置しないでください。吸湿劣化やシミの原因になることがあります。水分が残っているときは、乾いた脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

3 お手入れのときや、お手入れなどで画面の向きを変える際に、画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れないように注意してください。

また、画面のみを押したり、引っ張ったりしないように注意してください。



こんな場合は故障ではありません

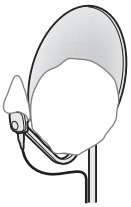
悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

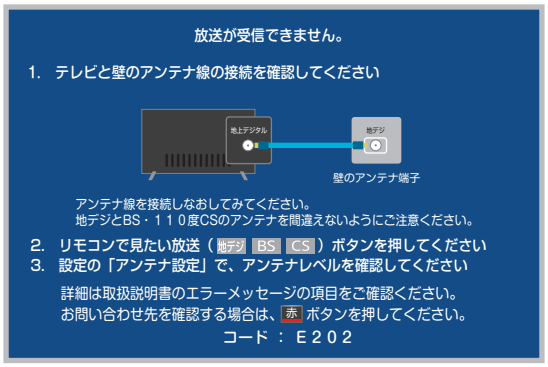
- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

大雨が降っている

大雪が降っている

アンテナに雪が積もっている





本機内部からの動作音

- 電源「待機」時に番組情報取得などの動作を開始・終了する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

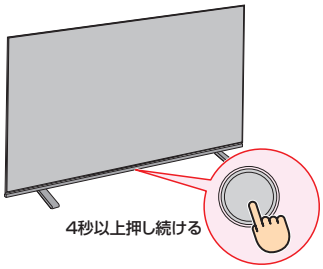
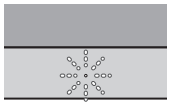
- 使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容および機能操作ガイドの「症状に合わせて解決法を調べる」から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

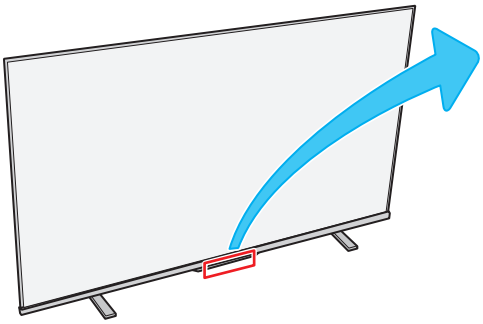
テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする

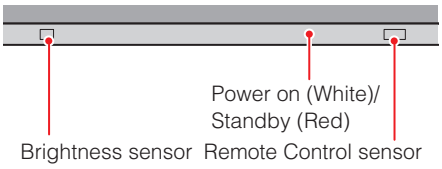
- リモコンでもテレビの本体ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

電源プラグを抜いてリセットする	本体ボタンを長押ししてリセットする
❶電源プラグをコンセントから抜く ❷1分間以上待つ ❸電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	❶テレビの本体ボタンを押し続ける  ❷本体前面の表示ランプが点滅したら、本体ボタンから手を離す  ● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

Basic Operations

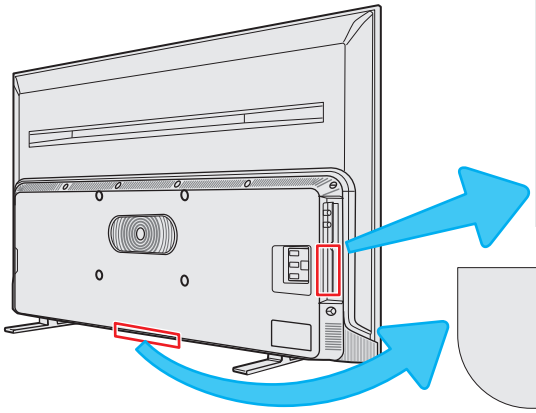
[TV Front Panel]

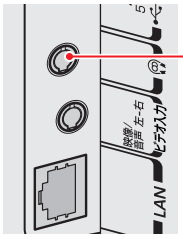




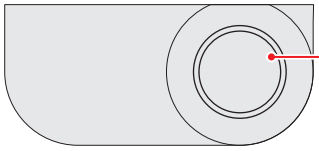
- **For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)**

[TV Rear Panel]





Headphone jack



- **Press to turn the TV set on and off.**
  Toggle the button right and left to adjust the volume.
  Toggle the button down foward to switch the button right/left function.

[Remote controller]

Input selection button

Power button (ON/STANDBY)

- **For selecting Digital terrestrial broadcasting programs.**
- **For selecting program channels.**

Channels sequential access button (Up / Down)

- **For selecting Digital satellite broadcasting programs.**

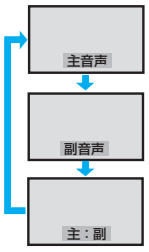
Sound volume adjustment button

EPG button

- **For accessing to the Electronic Program Guide (EPG). EPG provides you a chart of the schedule of all available digital channels.**

- **For exiting menus or EPG mode.**
- **For returning to the previous screen when in menu or EPG mode.**

Multi-sound mode selection button



Japanese

Second-language

Japanese
+
Second-language

- For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

本製品のご利用に関する重要なお知らせ

ソフトウェア等利用規約

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の利用を開始される前に、必ずこのソフトウェア等利用規約（以下、「本規約」といいます。）をお読みください。なお、お客様（以下、「利用者」といいます。）による本製品の利用開始をもちまして、本規約の内容を十分にご理解いただき、また本規約の内容に同意したものとさせていただきます。

本規約は、利用者とＴＶＳ ＲＥＧＺＡ株式会社（以下、「当社」といいます。）との本製品又は本製品に含まれるソフトウェア（当社が利用許諾を受けている第三者（以下、「原権利者」といいます。）のソフトウェアを含みますが、これに限られません。なお、本規約とは別のソフトウェア利用条件が定められているソフトウェアも本製品に含まれますが、このようなソフトウェアの利用条件に関しては後述します。本製品に含まれるソフトウェアを、以下、「本ソフトウェア」といいます。）の利用に関する条件について規定する契約です。なお、本規約は、これらに加え、本製品に同梱される印刷物やオンラインで提供される情報も対象としております。

万が一、本規約にご同意いただけない場合、本製品に含まれるソフトウェア又はコンテンツサービス（以下、「本ソフトウェア等」といいます。）をご利用いただくことはできませんので、本製品の利用を開始する前に本製品の返品等について、当社までお問い合わせ下さい。また、当社の提供するコンテンツまたはコンテンツサービス（以下、「当社サービス」といいます。）に関するプライバシーポリシー（以下、「当社プライバシーポリシー」といいます。）に同意いただけない場合、本ソフトウェア等の利用に関し一部制限がかかる場合があります。なお、本規約又は当社プライバシーポリシーは、当社の判断により、適宜変更されることがありますので、予めご了承ください。本規約及び当社プライバシーポリシーについては、本製品の「設定」内の「その他の設定」から「ソフトウェアの利用について」をお選びいただくと、ご覧いただけます。

インターネット接続環境又は第三者サービス等

(1) 本製品は、当社サービス又は当社以外の第三者コンテンツプロバイダー（以下、「第三者プロバイダー」といいます。）から提供されるソフトウェア、動画、画像、文書、音声その他一切のコンテンツサービス（以下、「第三者サービス」といいます。）へのアクセスを可能にする機能を搭載しておりますが、この機能を利用するためには、インターネットへの接続環境が必要となっております。当社サービス又は第三者サービス（以下、併せて「本サービス」といいます。）へのアクセス速度やサービスの品質、画質、利用可能な画像サイズその他一切のサービスは、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境（インターネットサービスの性能、回線容量等を含みますが、これに限られません。）又は第三者サービスの配信環境に依存します。

(2) インターネットプロバイダーを含むインターネットサービス事業者への接続料等の支払いについては、利用者が責任を負うこととします。また、本サービスの品質については、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境に依存するものとなります。

(3) 第三者サービスは、当該第三者プロバイダーの判断により提供されるサービスであり、当該第三者プロバイダーの提示する条件に基づいて提供されており、当社は第三者サービスには関与していません。第三者サービスについては、第三者プロバイダーが定める条件に従ってご使用ください。第三者サービスに起因する損害および一切の送受信に関する事項（送受信の非適時性、送受信データの消失、エラー又は不保存を含みますが、これに限られません。）について、当社は一切関与いたしません。

(4) インターネットを利用した情報の送受信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送受信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。

本ソフトウェア等又は本サービスの取扱い

(1) 本ソフトウェア等は、衝撃耐性を有していないため、本ソフトウェア等の欠陥や誤作動により、利用者又は第三者の生命、身体、財産等に物理的な損害を与えるような環境下ではご使用いただくことはできません。

本ソフトウェア等は、暗号化技術を含んでいるものもあります。暗号化技術を含むソフトウェア又はコンテンツは、輸出入に関する法律、規則、又は政府による許認可の対象となる可能性があり、利用者は、このような法律、規則、許認可又は条約等一切の規律を順守する責任を負います。なお、暗号化技術を含む本ソフトウェア等は、政府関係機関又は外国政府による使用を意図しておりません。

(2) 本サービスは、利用者の私的利用の範囲内で利用されるものであり、レンタルや入場料又は視聴料を伴う場所における上映その他公共の場での放映を目的に利用することは禁止されております。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに関する一切の行動（本サービスへのアクセス、閲覧、利用等を含みますが、これに限られません。）について、自ら責任を負い、合法的な目的においてのみ、本ソフトウェア等又は本サービスを利用することができます。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービス又はこれらの複製について、商用的又は公共的目的のために、販売、交換、修理又は送信することはできません。また、利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに係る動作を停止させ、又は停止を試みてはなりません。

(3) 本サービスは、現状有姿のまま何らの保証なく提供されるものとします。当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、本ソフトウェア等又は本サービスについて、何らの保証（利用者の要求を満たすこと、本ソフトウェア等又は本サービスが中断なく稼働し不具合のないこと、第三者から侵害されないこと、利用者にとって有用であり合目的性があること、正確性や信頼性があること等を含みますが、これに限られません。）も行いません。また、当社又は当社代表者や役員等からの一切の情報の提供は、改めて当社による保証を生じさせるものではなく、本規約上の保証に関する条項を変更させるものではありません。さらに、本サービスの内容は、適宜変更されることがあり、またサービスそのものが終了することもありますので、あらかじめご了承ください。

(4) 本ソフトウェア等又は本サービスは、バグの修正、機能の改善、セキュリティー機能の強化等の目的で、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、事前の通知なく、適宜、アップデート等の修正（以下、単に「修正」といいます。）がなされることがあり、この修正の適用を本ソフトウェア等の継続的な使用の条件にすることもあります。このような修正により、利用者が利用している本ソフトウェア等又は本サービスの機能が変更され、又は一部削除される可能性があります。

本製品又は本ソフトウェア等には放送番組の録画機能が備えられておりますが、修正により、この録画機能が中止され、適切に録画がなされない可能性もあります。また、本製品又は本ソフトウェア等には利用者の嗜好情報に基づいて放送番組を自動録画する機能も備えられていますが、利用者が意図した全ての放送番組の自動録画を保証するものではありません。録画を希望する放送番組がある場合、通常録画予約をお勧めしますが、これについても、録画予約が重複し、若しくは本ソフトウェア等又は本サービスが修正される等の理由で放送番組が録画されない可能性もあります。当社は、放送番組の録画が確実になされることを保証するものではありません。なお、録画済みの放送番組は、自動録画用に設定したハードディスク領域の空き容量が少なくなると、自動的に消去されることとなりますので、予めご了承ください。

(5) 利用者は、本規約で明示的に定められたもの以外の目的で、本ソフトウェア等を利用することはできません。本ソフトウェア等は、本規約に基づいて、本製品においてのみ、利用が許諾され、また利用が可能となりますが、利用者に譲渡されるものではありません。また、本ソフトウェア等は、データを自動作成することがありますが、かかるテータは本ソフトウェア等の一部とみなします。利用者は、当社の同意なく、本ソフトウェア等の一部を本ソフトウェア等から分離して利用してはならず、また本ソフトウェア等の一部又は全部の修正、リバースエンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブルしてはならず、さらに本ソフトウェア等を譲渡、貸与又はリースしてはならないものとします。

(6) 利用者は第三者に対して、当該第三者が本規約の全条項に同意することを条件とし、本製品の譲渡に伴う本ソフトウェア等の一切(本ソフトウェア等のあらゆるアップデート又はバージョンに係る構成部分、媒体、印刷物若しくはその複製が含まれますが、これに限られません。)又は本規約上の地位を譲渡することができますが、当社又は原権利者は、本規約上利用者に許諾されていない全ての権利を留保しております。

(7) 当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、利用者に事前の通知なく、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、本ソフトウェア等又は本サービスの全て又は一部を、一次的又は恒久的に変更、中止、終了又は削除することがあります。当社は、かかる変更、中止、終了又は削除によって利用者に何らかの損害が生じたとしても、責任を負いません。また、利用者が本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、本規約の履行を強制し、又は不履行を是正するため、あらゆる法的又は技術的な対策(利用者の本ソフトウェア等又は本サービスへのアクセス権限の即時停止等を含むが、これに限られない。)をとることができることとします。

本製品の取扱い等

(1) 本製品又は本ソフトウェア等には、本規約だけでなく、本規約とは別のソフトウェア利用条件に従っていただくもの(以下、「一部ソフトウェア」といいます。)が含まれます。一部ソフトウェアには、オープン・ソース・イニチアチブ(ＯＳＩ)によりオープンソースライセンスと認められたソフトウェアの他、それに代替する類似のソフトウェアライセンス(頒布者に当該ソフトウェアのソースコードを利用可能にしなければならない等の頒布条件の付されたものが含まれますが、これに限りません。)が適用されるソフトウェアもあります。一部ソフトウェアに適用される個々の条件は、本規約又は本製品の「設定」内の「その他の設定」から「ソフトウェアの利用について」をお選びいただくと、ご覧いただけます。なお、一部ソフトウェアに適用されるライセンスの条件は、当該一部ソフトウェアにおいて求められる限度において、本規約に代わって適用されるものとし、本規約の内容が、一部ソフトウェアに適用されるライセンスによって禁止されている場合、その限度において、当該本規約の内容は、当該一部ソフトウェアに適用されないものとします。当社は、一部ソフトウェアに適用されるライセンスに求められる限度において、本ソフトウェア等のソースコードを提供することとします。

(2) 本製品又は本ソフトウェア等には、ジェネラル・パブリック・ライセンス(ＧＰＬ)又はグヌー・レッサー・ジェネラル・パブリック・ライセンス(ＬＧＰＬ)の適用を受けるソフトウェアが含まれます。これらのソースコードをご覧になりたい場合は、当社ホームページにて「Linuxに関するお問い合わせ」からお問い合わせください。

ただし、エンド・ユーザー・ライセンス・アグリーメント(ＥＵＬＡ)に同意することを条件として提供される一部ソフトウェアには、著作権者又は当社を含む第三者の保証がないことを前提に、利用者が自身の判断で利用することが認められているものもあります。この場合、当該一部ソフトウェアは無償で利用者に利用許諾されますが、当該一部ソフトウェアの保証(市場性や特定目的適合性に関する黙示の保証も含まれますが、これに限りません。)は適用されず、当該一部ソフトウェアは、現状のまま提供されることとなりますので、利用者は、当該一部ソフトウェアの品質や性能に関する責任を負うこととなります。また、当該一部ソフトウェアに欠陥が確認された場合、修理等に伴う費用やそれに派生する費用について、当社は責任を負いません。また、著作権者やその許諾を受けて当該一部ソフトウェアの変更、再頒布をなし得る者は、法令の定め又は書面による合意がない限り、当該一部ソフトウェアを使用したこと又は使用できないことに起因する損害(データ自体又は正確性の消失、利用者又は第三者が被った損害、他のソフトウェアとのインターフェースの不適合化等の通常損害、特別損害、間接損害、偶発損害等の損害が含まれますが、これに限られません。)について、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合であっても、責任を負いません。当該別途ソフトウェアの利用条件等の詳細については、各ＥＵＬＡをご参照ください。

本サービスに対する姿勢

本製品を通じた本サービスの提供は、当社が本サービスを推奨していることを意味するものではありません。本サービスには広告物を含むことがありますが、同広告物は本サービスを提供するのにやむを得ず掲載等をしているものもあります。なお、当社又は第三者プロバイダーは、同広告物やコンテンツが正確性を有していること、適法であること、信頼に足りるものであることを保証するものではありません。

また、本サービスの一部は、年少者又はそれに準じる者に対して適切でないものも含まれます。そのようなサービスは、年齢制限が指定されているものもあれば、そのような指定がされていないものもありますが、そのようなサービスの利用については利用者自らの判断と責任で行っていただくこととなります。そのため、年少者による本サービス全般の利用について、利用者による監視監督が必要な場合があります。なお、利用者が未成年であれば、次のいずれかのサービス又はそれに類するサービスを利用する前に、親権者等の法定代理人の同意を得る必要があります。

- 当社にメッセージその他一切の情報を送る行為
- ゲームまたは懸賞等に参加する行為
- グループ又はチャットルームに参加し、若しくは掲示板へ投稿する行為
- 物品又はサービスを購入する行為

なお、当社は、新規又は既存の当社サービスの利用について、課金を要するような変更を加える権利を留保します。利用者の同意なく一方的に課金されることはありませんが、利用者が課金に同意しない場合、利用者は当社サービスの内課金対象となったサービスを利用できないことがあります。

アカウント等の機密保持等

利用者は、当社又は第三者プロバイダーにより、本ソフトウェア等又は本サービスの利用にあたってユーザーアカウント又はパスワード(以下、「アカウント等」といいます。)の作成又は更新を求められることがあります。利用者は、自らの責任のもとで、アカウント等の機密性を保持することとし、このような機密性の保持については、利用者が一切の責任を負うものとします。

利用者が本規約に従って本製品を返品、譲渡し、又は本規約が解除される場合、利用者は、本製品を通じてアクセスし取得したアカウント等を消去し、本製品をすべて初期化して購入時の状態に戻すこととします。

本製品のご利用に関する重要なお知らせ つづき

当社による情報の利用等

当社は、利用者が提供した一切の情報（提供方法の如何を問わず、またコメント、メッセージ、質問及び回答、提案その他一切のデータを含みますが、これに限られません。以下、「利用者情報」といいます。）は、すべて機密情報又は利用者に専属的に帰属する情報でないものとして取り扱います。そのため、当社による利用者情報の利用は、利用者のいかなる権利（所有権又は著作権、著作者人格権等の知的財産権等を含みますが、これに限られません。）も侵害したことにならず、また、すべての利用者情報は、地域の限定なく利用（複製、開示、放映、上演、出版、販売、送信、公表、翻案等を含みますが、これに限られません。）される可能性があります。また、利用者は、すべての利用者情報に関する権利等を当社に譲渡することとし、当社は、利用者に対価を支払うことなく、利用者情報に含まれるアイデアや技術等の知的財産権を自由に利用することができるものとします。なお、当社が利用者情報を取得しても、利用者情報又はそれに含まれる知的財産権を利用する義務を負うものではありません。

なお、インターネットを利用した情報の送信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。

第三者プロバイダーによる情報収集等

第三者プロバイダーにより、第三者サービスを通じて、利用者に関する情報が収集されることがありますが、当社は責任を負うものではありません。第三者プロバイダーによる情報収集については、当該第三者サービスに関するプライバシーポリシーを事前にご確認ください。

知的財産権の取扱い

本サービスは、知的財産権に関する条約、法律又は規則等により保護されています。本サービスの利用を認めることは、当社、原権利者又は第三者プロバイダーが、利用者に対して、保有するロゴ、サービスマーク、商標、商号その他これらに類するものに関する権利を譲渡又は利用許諾するものではありません。本サービス又は本サービスの複製に関する一切の権利は、当社、原権利者又は第三者プロバイダーに帰属するものとし、本規約において明示的に許諾されていない一切の権利についても同様とします。

本規約の改定

本規約は、当社の判断（利用者が本規約に違反したことを含むが、これに限られない。）により、適宜、変更、追加又は削除されることがあります。いずれの場合も、利用者には、その実施後に通知（本ソフトウェア等によって行われます。）されますが、当該通知があった以降、利用者が本ソフトウェア等又は本サービスを利用することをもって、変更、追加又は削除された新たな契約内容に同意したものとさせていただきます。

免責

当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、故意または重大な過失がある場合を除き、各々の債務不履行と因果関係の認められる通常の損害以外のものについては、責任を負いません。

利用者の責任

利用者に次のいずれかの事由又はこれらに類する事由が生じて、当社、当社関係者（役員や従業員を含みますが、これに限られません。以下、併せて「紛争関係者」といいます。）又は利用者と第三者とのあいだで紛争が生じた場合、利用者は、紛争関係者と協議の上、自己の名前と責任、費用でそれら紛争を解決することとし、紛争関係者に一切の迷惑をかけないようにしなければなりません。なお、紛争関係者は、利用者から補償を受けることを前提に、自己の名前と責任、費用で当該紛争を解決する権利を留保します。

- 本規約に違反し、又は違反するおそれがあること
- 当社に対して何らかの情報が提供されたこと
- 第三者に対する権利侵害があったこと
- 本ソフトウェア等又は本サービスが損傷又は毀損されたこと

なお、利用者は、同紛争を解決するため、自己の判断で代理人を選任することができますが、利用者が紛争関係者の代理人を選任する場合、当該紛争関係者の同意を得なければなりません。利用者は、紛争関係者の事前の書面による同意を得ることなく、紛争関係者の不利益になるような合意をすることはできません。

完全合意等

本規約、本製品に関する保証、当社プライバシーポリシー又は当社サービス（修正されたものも含みますが、これに限りません。）は、これらの利用に関して、利用者と当社との間の完全合意であることとします。

当社による本規約上の権利の不行使は、それらの権利を放棄するというものではありません。仮に本規約の一部が関係法令等により無効になったとしても、それ以外の部分は本規約の趣旨に鑑みて有効に存続するものとし、利用者に適用されるものとします。

原権利者又は第三者プロバイダーは、本規約における受益者として取り扱われることがあります。本規約は、適宜適切に、原権利者又は第三者プロバイダーのために適用されるものとします。

本規約に定めのない事項又は本規約の解釈に疑義が生じた場合、当社と利用者とは、誠実に協議し、これを解決するものとします。

存続期間等

利用者が本規約に違反した場合、又は本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、事前の通知なく直ちに本規約を解除することができるものとし、このような解除がなされるまでの間、本規約は有効に適用されるものとします。

なお、このような解除がなされた場合、利用者は、本製品、本ソフトウェア等その他これらの複製品を直ちに廃棄又は返還しなければなりません。また、利用者は、当社、原権利者又は第三者プロバイダーに対し、このような解除がなされたことに伴い、費用の償還を求めることはできないものとします。

準拠法、裁判管轄

本規約の準拠法は、日本国の法律とします。本規約に関わる一切の紛争については、訴額に応じて東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

最終更新日　2022年12月15日

ライセンスおよび商標などについて

- Dolby ATMOS　Dolby AUDIO　Dolby VISION IQ

  この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos、Dolby Audio、Dolby Vision IQ、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-2022年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

- ACCESS™ NetFront®

  本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  ⓒ 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- HDMI®

  HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

- eilex PRISM　VIR FILTER　eilex FOCUS

  この製品はEilex International, LLCからの実施権に基づき製造されています。Eilex PRISM、VIR Filter、Eilex FocusはEilex International, LLC の商標です。

- AMD FreeSync Premium

  ⓒ 2020 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved. AMD and FreeSync and combinations thereof are trademarks of Advanced Micro Devices, Inc.

- 「Netflix」はNetflix, Inc.の商標です。
- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。
- Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

- **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**

  THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERACTION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

- This product contains technology subject to certain intellectual property right of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
  PlayReady end user notice
  Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit
  (http://www.openssl.org/)
- This product has used the FreeType code.

仕様

種類		4K液晶テレビ			
形名		43Z570L	50Z570L	55Z570L	65Z570L
受信機型サイズ		43V	50V	55V	65V
電源		AC 100V 50/60Hz共用			
消費電力		146 W 電源「待機」時 0.4W※1、 (機能動作時 19W)※2	148 W 電源「待機」時 0.4W※1、 (機能動作時 19W)※2	165 W 電源「待機」時 0..4W※1、 (機能動作時 19W)※2	215W 電源「待機」時 0.4W※1、 (機能動作時 19W)※2
年間消費電力量		187kWh/年	188kWh/年	201kWh/年	263kWh/年
区分名		c (4K以上液晶テレビ)			
スタンドを含む外形寸法 ( )は本体のみ	幅	96.2(96.2)cm	111.6(111.6)cm	123.0(123.0)cm	144.8(144.8)cm
	高さ	58.4(56.3)cm	67.1(64.9)cm	73.4(71.4)cm	85.8(83.7)cm
	奥行	19.6(8.8)cm	25.9(8.1)cm	25.9(8.2)cm	32.0(8.2)cm
スタンドを含む質量 ( )は本体のみ		10.0(9.7)kg	13.0(12.6)kg	15.5(15.1)kg	20.5(20.0)kg
液晶画面	画面寸法	幅94.1cm、 高さ52.9cm、 対角108.0cm	幅109.6cm、 高さ61.6cm、 対角125.7cm	幅121.0cm、 高さ68.0cm、 対角138.8cm	幅142.8cm、 高さ80.4cm、 対角163.9cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス			
	画素数	水平3840×垂直2160			
受信チャンネル		地上デジタル：地デジ011～地デジ528(CATVパススルー対応) BSデジタル：BS100～BS999、110度CSデジタル：CS001～CS999 BS・110度CS 4K：BS 4K 001 ～ 499、CS 4K 500 ～ 999			
スピーカー		フルレンジ 2個、ウーファー 1個			
音声出力		実用最大出力10W+10W+20W(総合音声出力40W) (JEITA)			
入力・出力端子	HDMI入力	HDMI入力 4系統(eARC/ARC：HDMI入力2のみ対応)			
	ビデオ入力	口径3.5mmミニジャック※3			
	USB(録画専用)端子	USB3.0			
	USB端子	USB2.0			
	光デジタル音声出力	光デジタル音声出力 1系統			
	ヘッドホン端子	口径3.5mmステレオミニジャック			
	LAN端子	RJ-45			
使用環境条件		温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80%（結露のないこと）			
付属品		「付属品を確認する」2 3 をご覧ください。			

※1：設定の「外部機器から電源オン」を「オフ」にしているときの消費電力です。

※2：電源「待機」時に以下の動作をしているときの消費電力です。
- 番組情報などを取得しているとき

※3：市販の4極ミニプラグの映像/音声ケーブルをご使用ください。

無線LANの仕様

規格	IEEE802.11n ／ IEEE802.11a ／ IEEE802.11g ／ IEEE802.11b ／ IEEE802.11ac準拠 ARIB STD-T71 ／ ARIB STD-T66 ※ 従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。
伝送方式	OFDM方式／ DSSS方式
周波数範囲(中心周波数) およびチャンネル	**IEEE802.11n ／ IEEE802.11a ／ IEEE802.11ac：** 5.18GHz ～ 5.24GHz (36、40、44、48) [W52] 5.26GHz ～ 5.32GHz (52、56、60、64) [W53] 5.50GHz ～ 5.70GHz (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140) [W56] **IEEE802.11n ／ IEEE802.11g ／ IEEE802.11b：** 2.412GHz ～ 2.472GHz (1 ～ 13)
動作モード	インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応しておりません。)

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ(55Vなど)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 年間消費電力の区分名とは：省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。
- 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、1日あたり5.1時間の平均視聴時間／18.9時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、一年間に消費する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」- JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

グリーンマークは、「JIS C0950電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」(通常J-Moss)での、特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを表すマークです。

USBハードディスクに録画できる時間の目安

- USBハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。

※「自動削除設定」が「削除する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画できる時間が下表よりも少なくなることがあります。

例 1TBのハードディスクの場合

放送番組の種類	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送番組(HD 最大17Mbps)だけを録画する場合	約125時間
BS/110度CSデジタルハイビジョン放送番組(HD 最大24Mbps)だけを録画する場合	約88時間
BS/110度CSの4K放送番組(4K 最大33Mbps)だけを録画する場合	約64時間

- 放送番組の種類は、サブメニューを押して「番組説明」を選択し、番組説明画面に表示されるアイコンで確認することができます。
- ハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのサブメニューの機器の情報画面(機能操作ガイド「録画機器を使う」》「機器の情報を確認する」)に表示される「録画可能時間」)は、BSデジタルハイビジョン放送の最大(24Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

対応機器について

- 接続できる機器については、ホームページで順次公開する予定です。(https://www.regza.com/regza/)

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

サポートメニューのよくあるご質問（FAQ）やチャット、メールでお問い合わせいただけます。

https://v-ivr-cs.regza.com/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

メモ　形名　　製造番号

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル（通話料：無料）
0120-97-9674

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル（通話料：有料）
0570-05-5100

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）
03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店または、「東芝テレビご相談センター」（上記）にご相談ください。

保証期間（ご購入後一年間）を過ぎた故障で、販売店の延長保証に加入されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。

- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
- 訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて他のテレビに交換をお願いする場合がありますので、ご了承願います。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

- 「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を待機にし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	4K液晶テレビ
形名	43Z570L、50Z570L、55Z570L、65Z570L
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　　―

廃棄時にご注意願います

- 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながったりすることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

TVS REGZA株式会社

〒212−0058　神奈川県川崎市幸区鹿島田1−1−2

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

TV/O1　RSAG2.025.8171SS B

©TVS REGZA CORPORATION 2022